



National Institute of Informatics

NII Technical Report

科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性
度の調査研究－2004 年度(平成 16 年度)版－ I . 人文
社会系編

Evaluation of Japanese Universities' Research
Activity Based on the Number of Awards of
Grants-in-Aid for Scientific Research — 2004 Fiscal
Year — I . Humanities and Social Sciences

光田好孝、野村浩康、前田正史、前橋 至、
根岸正光、柴山盛生、西澤正己、孫 媛

Yoshitaka MITSUDA, Hiroyasu NOMURA, Masafumi MAEDA,
and Itaru MAEBASHI,

Masamitsu NEGISHI, Morio SHIBAYAMA, Masaki NISHIZAWA,
and Yuan SUN

NII-2006-002J

Mar.2006

科学研究費補助金採択研究課題数による
大学の研究活性度の調査研究
- 2004 年度(平成 16 年度)版 -
I. 人文社会系編

光田好孝*, 野村浩康**, 前田正史*, 前橋至*
* 東京大学 ** 東京電機大学

根岸正光, 柴山盛生, 西澤正己, 孫 媛
国立情報学研究所

Evaluation of Japanese Universities' Research Activity
Based on the Number of Awards of
Grants-in-Aid for Scientific Research – 2004 Fiscal Year –
I. Humanities and Social Sciences

Yoshitaka MITSUDA*, Hiroyasu NOMURA**,
Masafumi MAEDA*, Itaru MAEBASHI*
* The University of Tokyo, ** Tokyo Denki University

Masamitsu NEGISHI, Morio SHIBAYAMA,
Masaki NISHIZAWA, Yuan SUN,
National Institute of Informatics

Abstract

The system of *Grants-in-Aid for Scientific Research* from Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology of Japan is one of the oldest ones, which is the funding system for researchers belonging to universities and institutes in Japan. The fund was allotted to each researcher by peer review under the application for their own research projects.

This is the first report for 2004 fiscal year's version, that is, the research field of humanities and social sciences. The total number of adopted subjects of research projects at 2004 has been summed up for each university and institute on individual research field and compared to those of 2003 which were reported previously.

目 次

・科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度の調査研究について

1 . はじめに	1
2 . 採択研究課題の移行の包括的な状況	2
3 . 調査研究に利用したデータベース	4
4 . 調査研究の具体的な分析方針	4

・科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度：人文社会系編

1 . 概要	7
2 . 分野別	14
2 - 1 人文学	14
2 - 2 社会科学	24

・科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度の調査研究について

1．はじめに

文部科学省（文部省）科学研究費補助金制度は、1939 年（昭和 14 年）に始まった古くからのわが国最大の、国・公・私立大学、国立研究機関等に所属する研究者に対する個人申請とピアレビューによる国の研究費配分制度である。この科学研究費補助金の配分システムが、いろいろな批判はあるにせよ、紆余曲折を経ながらわが国の大学の基礎研究を支えてきたと言っても過言ではない。その意味でも、科学研究費補助金がどのように配分されているかを総合的に分析・調査することは重要である。

科学研究費補助金の「系・分野（部）・分科・細目表」（以下「細目表」という。）は基盤研究等の種目に関し審査分野の区分を示す分類表であり、研究者は実施しようとする研究計画の内容を考え適切な細目を自ら選ぶことになっている。したがって、科学研究費補助金の「細目表」は不断に進展を続ける学問・研究の動向に合う適切なものでなければならない。科学研究費補助金の「細目表」については、5 年ごとに見直されてきており、1998 年度（平成 10 年度）に小規模な改正が、2003 年度（平成 15 年度）に大幅な改正が行われている。

以上のことから、我々は、2003 年度の「細目表」の大改訂を考慮して、1998 年度（平成 10 年度）～2002 年度（平成 14 年度）の 5 年間の全ての分野にわたって科学研究費補助金採択研究課題を分析し、その結果からわが国の大学・研究機関の研究活性度を調べ、国立情報学研究所の「NII テクニカルレポート」（NII-2003-007J(2003)、NII-2004-001J～005J(2004)）として、Web 上に公表した。同様に、新しい「細目表」を用いて初めて申請された 2003 年度の科学研究費補助金採択研究課題も分析し、国立情報学研究所の「NII テクニカルレポート」（NII-2005-002J、004J、006J～008J(2005)）として、Web 上に公表した。

本調査報告は、同様の調査研究の 2004 年度（平成 16 年度）版である。このような調査研究には連続性が必要であるので、2003 年度までの調査研究と同じ方針でデータの整理・分析を行う。2003 年度と同様に、個別課題研究費（基盤研究、萌芽研究、若手研究、特別研究員奨励費）と大型研究費（特別推進研究、特定領域研究、特別研究促進費、学術創成研究費）と研究成果公開促進費、審査・評価・分析経費にわけ、個別課題研究費、大型研究費について解析する。

なお、以下、2003 年度（平成 15 年度）からの「細目表」を「新研究コード」、2002 年度（平成 14 年度）までの「細目表」を「旧研究コード」と呼ぶこととする。

2．2004 年度（平成 16 年度）の包括的な状況

個別課題研究費、大型研究費、研究成果公開促進費および審査・評価・分析経費の 3 種類について、2003 年度と 2004 年度との項目別予算を図 1 - 1 に示す。総予算額が 127 億円増、前年比 7.5%増えて 1830 億円となり、1995 年度(平成 7 年度)と比較すると、倍増していることとなる。100 億円を超える額が毎年上積みされ、緊縮財政の中では突出した状況にある。しかし、これまでと同様に項目別予算の割合はほとんど変化していない。言い換えれば、全体的な枠組みは近年ほとんど変化しておらず、総予算額のみが増えてきているといえる。

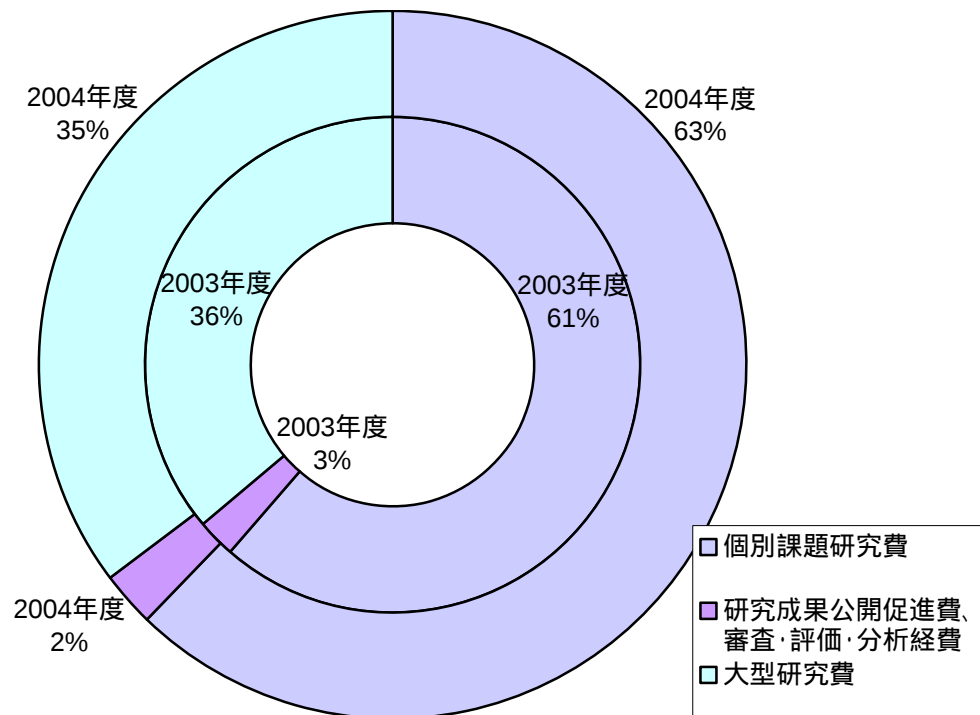


図 1 - 1 2003 年度(内周)と 2004 年度(外周)の科学研究費補助金の項目別予算

個別課題研究費について、2003 年度と 2004 年度の採択研究課題数の割合を図 1 - 2 - 1 と 1 - 2 - 2 に示す。大雑把に言えば、「系」および「分野」ごとにみても、採択研究課題数の割合に目立った変化はない。細かく見ると、2003 年度と比較して、総予算額の増加に伴い全体の採択研究課題総数が約 8% 増え、「系」別の伸びが総合・新領域系で 23%、人文社会系で 11%、理工系で 5%、生物系で 4% であり、その伸び方には差があることがわかる。従前の採択研究課題総数の少なかった系ほど、伸びが目立つ結果となっている。

2004 年度は、2003 年度から用いられている新しい「細目表」による研究課題の審査・採択の 2 年目にあたる。初年度の 2003 年度には、6 割近くを占める継続研究課題について、申請すべき新しい「細目」分野が原則として指示されていた。このため、新しい「細目表」を用いて研究者自身が申請し採択された研究課題の状況が、調査結果に必ずしも明確に表れているとはいえなかった。そこで、2003 年度の採択研究課題数と比較しながら、「分野」・「分科」ごとに機関別に 2004 年度の採択研究課題数を見ていくことにする。なお、2003 年度の採択研究課題数には、「NII テクニカルレポート」(NII-2005-002J、004J、006J～008J(2005))として整理した後に発表された追加採択研究課題も含めた採択研究課題数を用いている。このため、「NII テクニカルレポート」(NII-2005-002J、004J、006J～008J(2005))の採択研究課題数とは異なることに注意されたい。

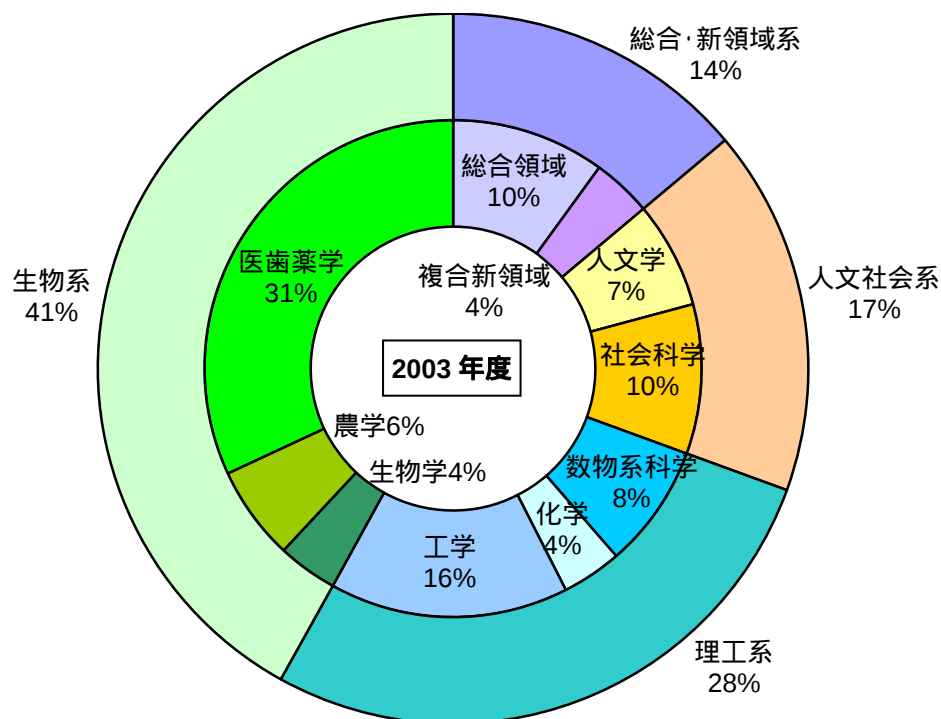


図 1 - 2 - 1 2003 年度科学研究費補助金の「系」別および「分野」別採択研究課題数の割合

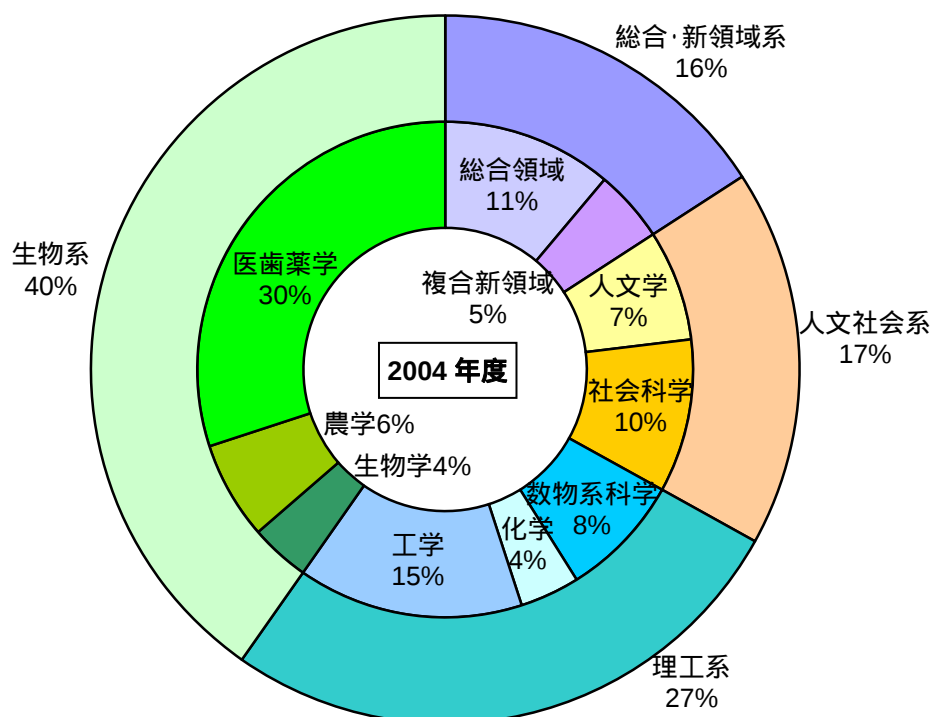


図 1 - 2 - 2 2004 年度科学研究費補助金の「系」別および「分野」別採択研究課題数の割合

3．調査研究に利用したデータベース

科学研究費補助金の採択研究課題名等については、「文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」(ぎょうせい発行)として、毎年10月に公表・刊行されている。また、科学研究費補助金の採択研究課題名や成果概要等については、国立情報学研究所により「KAKEN(科学研究費成果公開サービス)」(URL: <http://seika.nii.ac.jp/>)としても公開されている。

本調査研究、特に個別課題研究費の分析には「KAKEN」に公開されているデータベースを用いた。本調査研究に用いた個別課題研究費のデータベース概要を表1-1に示した。「KAKEN」には年度当初の採択研究課題に加え年度途中での追加採択研究課題も含まれているため、「文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」に掲載されている数値と一致しないことがある。

4．調査研究の具体的な分析方針

2003年度より新しい細目表が用いられていることを考慮し、2004年度の採択結果に2003年度の機関別採択研究課題数を併記し、新しい細目表による採択動向の影響を見ることとする。ただし、2003年度の途中から2004年度の研究課題の採択までの間に、大学の合併や名称変更などが行われている。2003年度の採択研究課題数を表記する場合には、この点を考慮して、合併前の大学の合算を行うなどの補正をしている。また、独立行政法人の改編に伴い申請時の機関名の記述が変更になったものもある。例えば、岡崎国立共同研究機関の分子科学研究所は、2003年度には機関：岡崎国立共同研究機関／部局：分子科学研究所であったものが、2004年度には機関：分子科学研究所となっている。このため、分子科学研究所の2003年度の採択研究課題数は0件となるなど、比較の難しいものもある。補正内容の詳細については個々に記さないで、注意されたい。

特別研究員奨励費を除く個別課題研究費では、科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度を、科学研究費補助金申請および採択に用いられた新研究コードにしたがって整理した。基本的には前回の2003年度の分析方針と同じである。

これらの研究種目については次の方法で分析する。

- (1) 各「系」について、2004年度の科学研究費補助金の採択研究課題数の総数による機関別順位を50位まで整理する。
- (2) 各「分野」について、採択研究課題数による機関別順位を50位まで整理する。
- (3) 「分科」については、文学、法学、経済学、薬学等学部に相当するものもある。基本的には、各「分科」について採択研究課題数による機関別順位を30位まで整理する。ただし、採択研究課題数が1件以下と少ない場合には、2件までの順位とする。
- (4) 各「細目」については、2004年度の単年度のため調査件数が少ないことから、分析の対象にはしなかった。この点については、現在の「細目表」が用いられる5年間の採択研究課題数の動向をいずれ見るときに改めて分析対象としたい。

一方、特別研究員奨励費については、「KAKEN」に公開されているデータベース上では、基本的に2003年度に新規採用された特別研究員からの申請による研究課題では旧研究コードが用いられ、2003年度に追加採用および2004年度に新規採用された特別研究員からの申請による研究課題では新研究コードが用いられている。このため、特別研究員奨励費の採択研究課題では、旧研究コードにより分類される研究課題と新研究コードにより分類される研究課題が混在している。

表 1 - 1 本調査研究に用いた個別課題研究費のデータベース概要 (2004 年度)

金額単位/千円

種目	分野	採択件数	配分額	種目	分野	採択件数	配分額
基盤研究 (S)	総合領域	24	457,500	萌芽研究	総合領域	443	610,700
	複合新領域	20	410,100		複合新領域	238	368,800
	人文学	9	178,200		人文学	151	153,300
	社会科学	5	74,900		社会科学	215	238,200
	数物系科学	32	541,200		数物系科学	214	279,900
	化学	19	367,800		化学	189	312,600
	工学	62	1,161,600		工学	575	890,200
	生物学	21	383,100		生物学	141	228,700
	農学	19	330,200		農学	283	438,700
	医歯薬学	46	891,800		医歯薬学	1,237	1,844,700
基盤研究 (A)	総合領域	168	1,711,100	若手研究 (A)	総合領域	64	418,200
	複合新領域	164	1,647,700		複合新領域	40	299,200
	人文学	157	1,209,900		人文学	10	22,600
	社会科学	149	1,206,700		社会科学	15	61,800
	数物系科学	199	1,964,400		数物系科学	50	314,600
	化学	94	1,050,800		化学	48	318,100
	工学	368	3,861,000		工学	127	900,300
	生物学	94	998,600		生物学	32	212,900
	農学	146	1,401,000		農学	31	195,400
	医歯薬学	259	2,663,500		医歯薬学	86	579,200
基盤研究 (B)	総合領域	823	3,658,900	若手研究 (B)	総合領域	1,281	1,651,850
	複合新領域	469	2,238,200		複合新領域	413	573,700
	人文学	497	1,651,100		人文学	586	545,700
	社会科学	718	2,447,700		社会科学	1,084	1,098,298
	数物系科学	623	2,629,900		数物系科学	829	983,392
	化学	354	1,777,400		化学	420	633,200
	工学	1,392	6,542,700		工学	1,517	2,129,677
	生物学	321	1,620,600		生物学	400	594,200
	農学	724	3,276,800		農学	544	749,700
	医歯薬学	1,956	9,003,000		医歯薬学	3,009	4,174,754
基盤研究 (C)	総合領域	1,590	2,074,900	特別研究員奨励費	全体	5,186	5,114,952
	複合新領域	526	730,000				
	人文学	1,415	1,350,400				
	社会科学	1,693	1,721,600				
	数物系科学	1,236	1,431,200				
	化学	421	644,700				
	工学	1,795	2,510,900				
	生物学	485	727,000				
	農学	720	996,600				
	医歯薬学	5,256	7,386,100				
	時限付き	249	387,600				

* 特別研究員奨励費には、細目番号不明の 16 件を含む。

したがって、特別研究員奨励費については次の方法で分析する。

- (1) 特別研究員奨励費全体の採択研究課題の総数（新・旧研究コードすべてを含む）による機関別順位を 50 位まで整理する。
- (2) 研究コードが混在しているため、旧研究コードの「部」と新研究コードの「分野」を、文系（部：文学、法学、経済学、分野：人文学、社会科学）理工系（部：理学、工学、農学、分野：数物系科学、化学、工学、生物学、農学）医系（部：医学、分野：医歯薬学）融合系（部：複合領域、分野：総合領域、複合新領域）の 4 つに統合する。この 4 つの「系」について、採択研究課題数による機関別順位を 50 位まで整理する。
- (3) 各「部」および各「分野」についても、採択研究課題数による機関別順位を 30 位まで整理する。ただし、採択研究課題数が 1 件以下と少ない場合には、2 件までの順位とする。なお、これらについては、「細目表」の変更をまたいでいるため個別の機関別順位には本質的な意味がないことに注意が必要である。

・科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度：人文社会系編

1．概要

2003 年度より新しい細目表が用いられていることを考慮し、2004 年度の採択結果に 2003 年度の機関別採択研究課題数を併記し、新しい細目表を用いた際の採択動向をみることにする。「人文社会系」全体での機関別採択研究課題数を表 2 - 1 に、その棒グラフを図 2 - 1 に示す。表から明らかなように、2003 年度と比較すると、人文社会系全体として採択研究課題総数が 1 割強増えていることがわかり、人文社会系の伸びは比較的大きいといえる。

東京大学の優位は変わらないが、早稲田大学が採択研究課題数を大幅に伸ばし、立命館大学や関西大学も同様に伸びている。これに対して、採択研究課題数はほぼ同数であるため、慶應義塾大学が 17 位から 20 位に後退している。人文社会系全体としては、国立大学と私立大学が混在している状況には変化がなく、他の系・分野と比べて、私立大学、公立大学が上位に位置していることが大きな特徴である。

表 2 - 1 人文社会系 採択研究課題数上位 50 位 (2004 年度)

金額単位/千円

順位	種別	機関名	2004年度		2003年度 件数
			件数	金額	
1	国	東京大学	308	841,800	286
2	私	早稲田大学	206	323,035	163
3	国	京都大学	197	483,700	181
4	国	広島大学	181	267,000	159
5	国	神戸大学	180	339,200	163
6	国	大阪大学	154	375,800	127
7	国	東北大学	151	306,000	142
8	国	筑波大学	148	269,400	151
9	国	名古屋大学	145	291,000	135
10	国	北海道大学	142	295,100	144
11	国	九州大学	141	257,500	144
12	私	立命館大学	102	184,900	83
13	国	一橋大学	92	207,800	94
14	国	岡山大学	76	110,200	76
15	国	東京外国語大学	72	184,500	66
15	公	東京都立大学	72	133,000	73
17	国	千葉大学	67	126,500	55
18	国	新潟大学	63	75,400	52
19	私	関西大学	62	104,500	46
20	私	慶應義塾大学	59	146,700	60
21	国	東京学芸大学	56	92,900	54
22	国	埼玉大学	53	78,300	49
23	私	明治大学	52	89,500	39
24	国	信州大学	51	58,500	43
25	私	東洋大学	50	67,800	36
26	私	日本大学	48	78,700	47
26	国	琉球大学	48	76,700	44
26	国	静岡大学	48	73,400	46
29	私	立教大学	47	112,000	43
29	私	法政大学	47	91,500	43
29	国	横浜国立大学	47	79,600	40
32	私	中央大学	44	104,300	32
32	国	お茶の水女子大学	44	81,300	44
32	国	金沢大学	44	61,500	40
35	公	大阪市立大学	43	92,446	44
36	国	愛媛大学	42	62,700	40
37	国	福島大学	41	32,900	33
38	私	上智大学	40	93,100	38
38	国	山口大学	40	54,617	33
38	国	滋賀大学	40	49,000	37
38	国	富山大学	40	44,400	32
42	他	国立教育政策研究所	39	85,500	40
43	国	熊本大学	37	58,400	36
43	国	長崎大学	37	42,700	39
45	私	関西学院大学	36	61,700	37
46	私	同志社大学	33	79,500	35
46	国	弘前大学	33	59,400	22
46	国	山形大学	33	33,900	24
49	私	青山学院大学	31	41,200	33
49	国	香川大学	31	38,100	25
49	国	大阪外国語大学	31	37,300	28
49	国	三重大学	31	33,400	26
合計			6,704	11,960,398	6,029

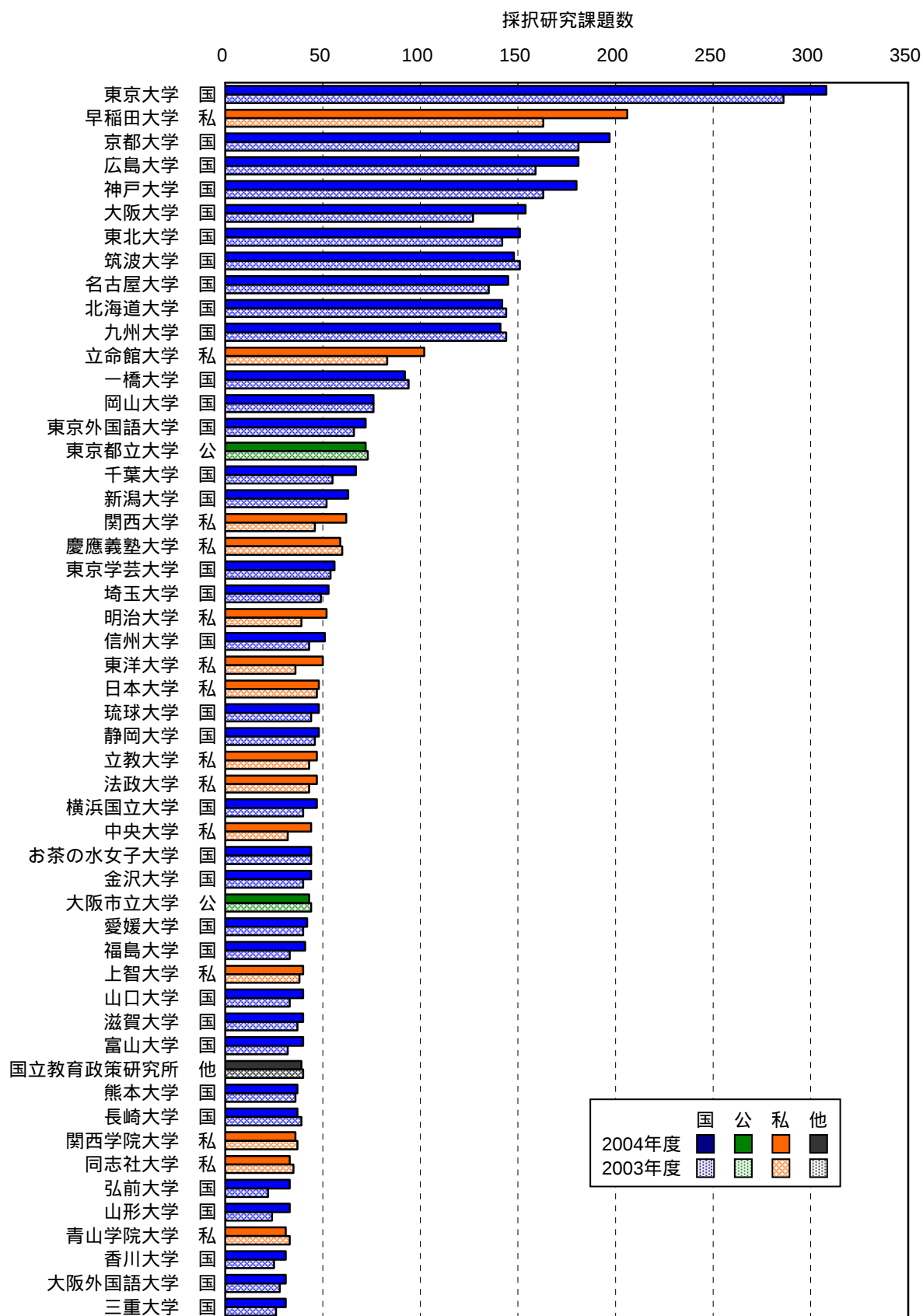


図 2 - 1 人文社会系 採択研究課題数上位 50 位 (2004 年度)

この人文社会系を「分野」別にわけると、図 2 - 2 に示すように、採択研究課題数の割合は分野：人文学で 42.1%、分野：社会科学で 57.9%であり、「分野」別の割合は 2003 年度とほとんど変化していない。「分野」別に採択研究課題数を比較すると、分野：人文学が 12%伸び、分野：社会科学が 11%伸びており、ほぼ同じ伸びを示している。

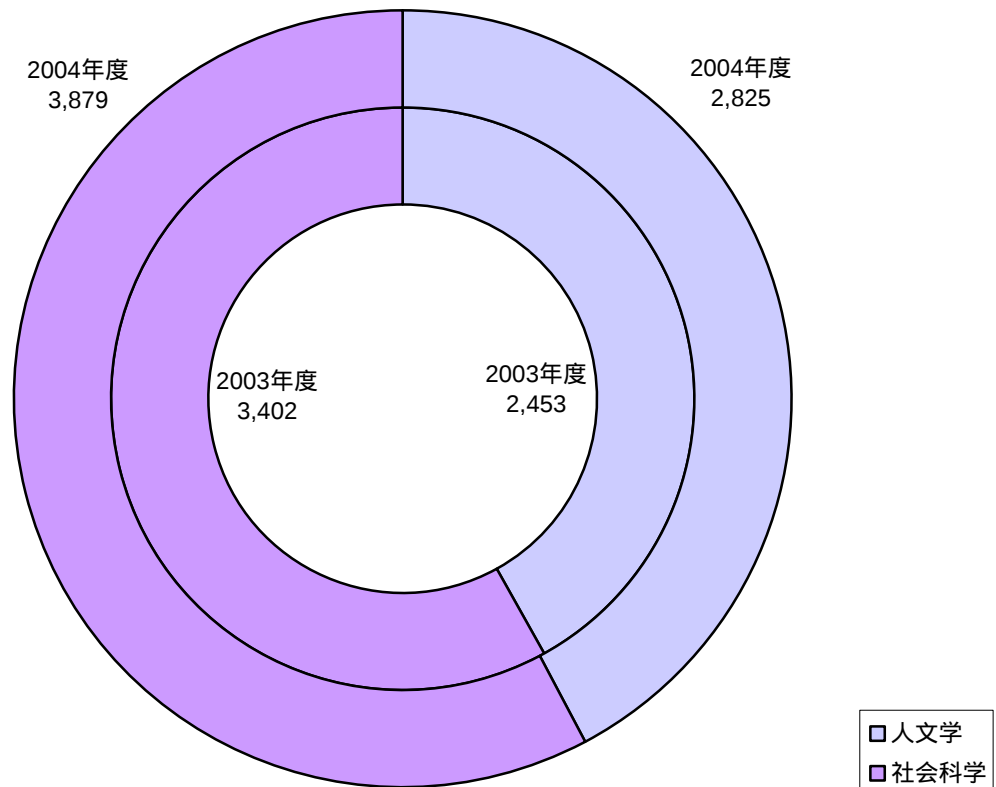


図 2 - 2 2003 年度(内周)と 2004 年度(外周)の人文社会系「分野」別採択研究課題数

分野：人文学、社会科学での採択研究課題数を機関別に整理したものの上位 50 位を表 2 - 2 に、棒グラフを図 2 - 3 - 1 と 2 - 3 - 2 にそれぞれ示す。人文学、社会科学ともに 2003 年度までの傾向とほぼ同じであるが、個々の分野の特徴も現れている。

分野：人文学では、東京外国語大学、大阪外国語大学、国立国語研究所等の言語学系の大学・研究所や国文学研究資料館、奈良文化財研究所、国立歴史民俗博物館、国立民族学博物館等の研究機関が上位になっている。また、愛知県立大学が 31 位になるなど、地方国公立大学の特徴が見える順位になっている。2003 年度と比較すると、人文社会系全体と同様に、早稲田大学が大幅に採択研究課題数を伸ばし 5 位から 3 位となっているのに対して、慶應義塾大学が 23 位から 29 位に後退している。

分野：社会科学でも、全体的な特徴は変わらないが、国立教育政策研究所、国立特殊教育総合研究所等の教育学系の研究所や、東京学芸大学、兵庫教育大学、上越教育大学、愛知教育大学等の教員養成大学が比較的上位に現れてくる。分野：人文学でも、2003 年度と比較すると、同様に、早稲田大学が大幅に採択研究課題数を伸ばしている。

金額単位/千円

11

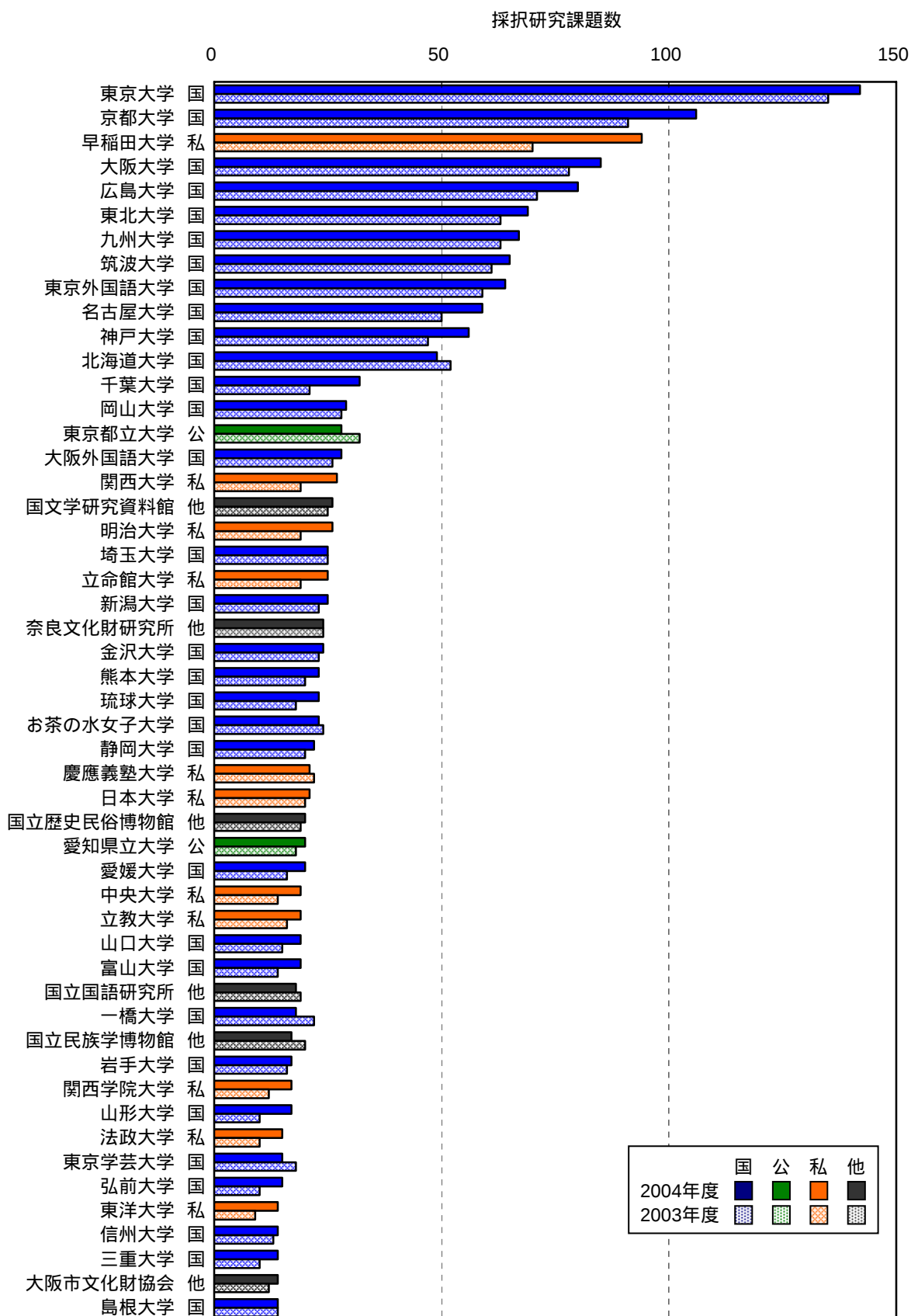


図 2 - 3 - 1 人文学 採択研究課題数上位 50 位 (2004 年度)

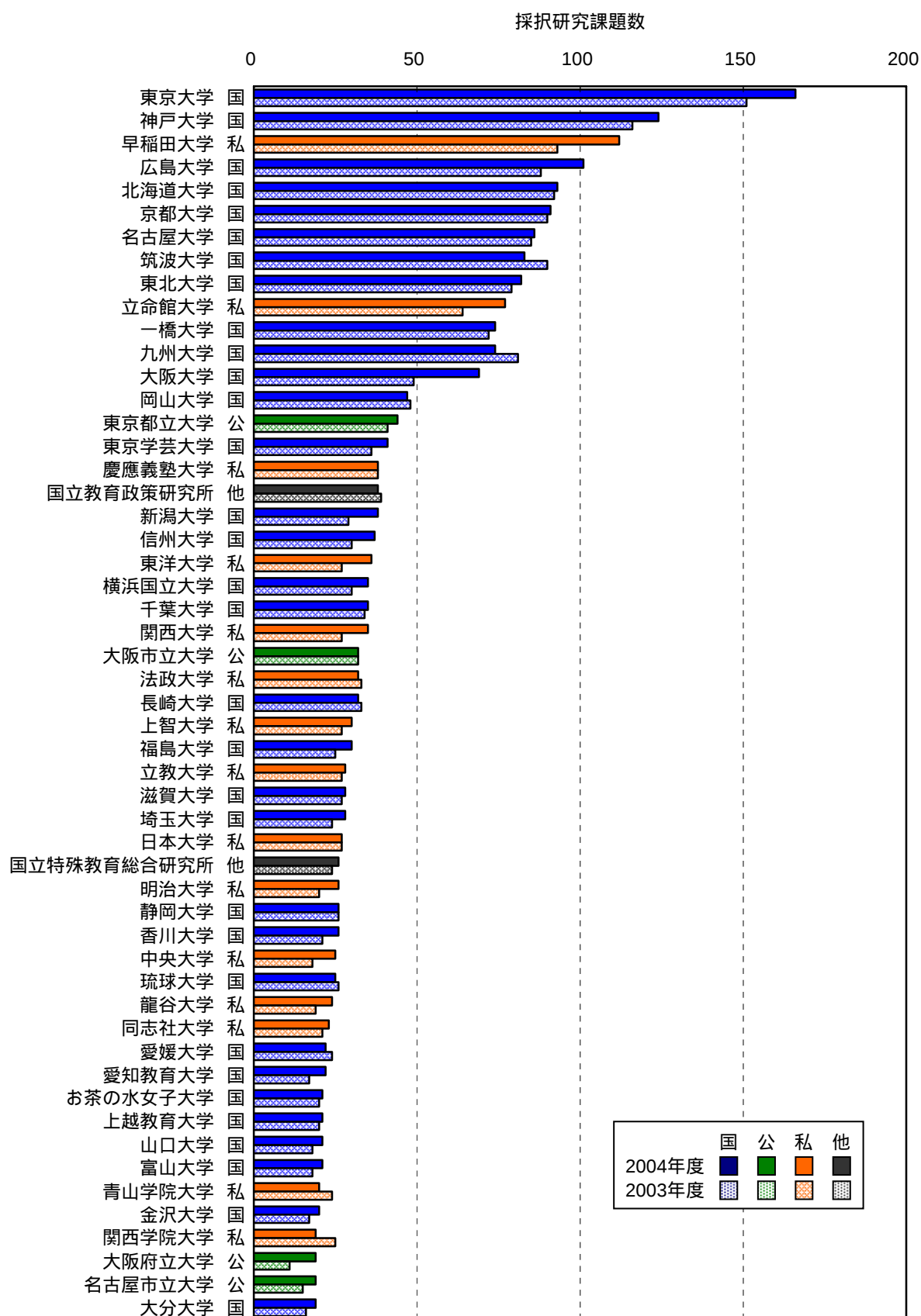


図 2 - 3 - 2 社会科学 採択研究課題数上位 50 位 (2004 年度)

2 . 分野別

2 - 1 人文学

分野：人文学の中の哲学、文学、言語学、史学、人文地理学、文化人類学の「分科」ごとの科学研究費補助金採択研究課題数を図2 - 4の円グラフに示す。

図2 - 4から明らかなように、哲学、文学、言語学、史学の「分科」に比べて、人文地理学、文化人類学は、採択研究課題数で史学や言語学の約4分の1、哲学や文学の約3分の1と小さく、他の「分科」の「細目」に相当する採択研究課題数の規模となっている。このため、単年度のみの採択研究課題数を用いた大学間の研究活性度の比較を行う場合は、統計的な意味が他の分科と異なる点に多少注意する必要がある。

2003年度と比較すると、分野：人文学の採択研究課題総数は約12%増えているが、「分科」により採択研究課題総数の増分には差があることがわかる。採択研究課題数が少ない分科：人文地理学、文化人類学では採択研究課題総数にほとんど変化がない。これに対して、もっとも採択研究課題総数が増えたのは分科：文学であり、約21%伸びている。

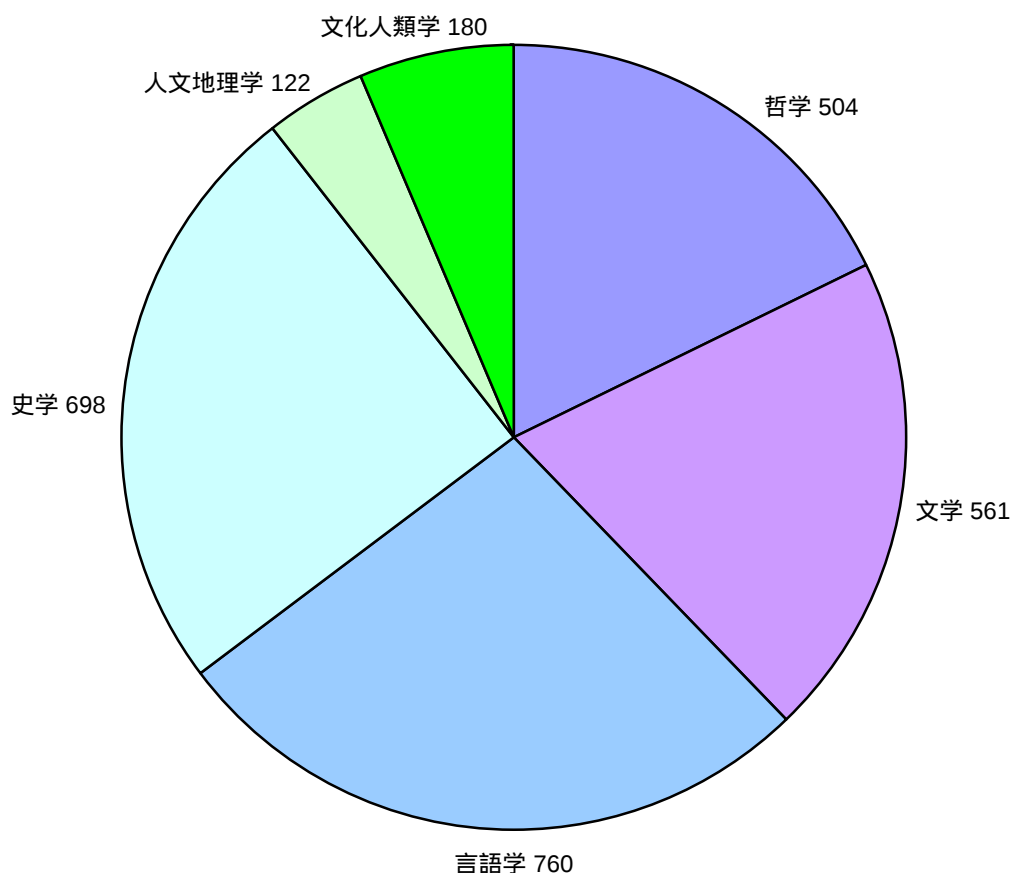


図2 - 4 人文学「分科」別採択研究課題数（2004年度）

以下、哲学、文学、言語学、史学、人文地理学、文化人類学・民俗学の各「分科」について、I 章で述べた方針にしたがって上位 30 位までを表にまとめ、表 2 - 3 - 1 ~ 2 - 3 - 3 に示す。表に対応した各「分科」の機関別の棒グラフを図 2 - 5 - 1 ~ 2 - 5 - 5 に示す。分科：人文地理学は採択研究課題数が少ないので、棒グラフでは省略することとする。

表 2 - 3 - 1 ~ 2 - 3 - 3 と図 2 - 5 - 1 ~ 2 - 5 - 5 で一目瞭然であるが、新しい細目表では各「分科」が学問分野ごとにより整理されているので、それぞれの分野での各大学の研究活性度がかなりよくみえる。分科：哲学では、東京大学、京都大学、大阪大学、東北大学と旧帝国大学時代から文学部を持つ大学が上位を占め、私立大学の早稲田大学が 5 位に位置しており、上位には変化がない。

分科：文学では、東京大学の 1 位は変わらないが、採択研究課題数を大幅に伸ばした早稲田大学が 2 位に位置し、同様に神戸大学が 4 位に浮上している。採択研究課題総数が 21% も伸びているにもかかわらず、九州大学等が採択研究課題数を減らしていることが目に付く。

これに対して、分科：言語学では、東京外国語大学が 1 位であり、その特徴が表れている。2003 年度との比較では、広島大学、早稲田大学、千葉大学等が採択研究課題数を伸ばしているといえる。

分科：史学では、東京大学、京都大学のほか各種の歴史・民俗学系の研究所が 30 位の範囲に数多く入っていることには変化がない。

以上のように、新しい細目表を用いた 2 年目となる 2004 年度では、2003 年度と多少異なった採択動向になってきている。しかし、分野：人文学では、各研究機関の「分科」別の採択研究課題数が少なく、年度による採択研究課題数にバラツキがあるため、このような採択動向の変化を注意深く見守る必要があると考えられる。

表2 - 3 - 1 人文学「分科」別採択研究課題数上位30位(2004年度)(1)

金額単位/千円

哲学						文学					
順位	種別	機関名	2004年度		2003 件数	順位	種別	機関名	2004年度		2003 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	国	東京大学	33	85,900	37	1	国	東京大学	37	94,700	34
2	国	京都大学	23	42,800	20	2	私	早稲田大学	26	33,700	18
3	国	大阪大学	18	44,200	18	3	他	国文学研究資料館	20	86,200	19
3	国	東北大学	18	42,200	16	4	国	神戸大学	18	21,900	10
5	国	北海道大学	14	25,300	11	4	国	大阪大学	18	21,100	15
5	私	早稲田大学	14	21,600	11	4	国	広島大学	18	20,800	13
5	国	九州大学	14	16,100	10	7	国	京都大学	17	25,500	15
8	国	名古屋大学	11	18,600	9	8	国	東京外国語大学	16	28,500	14
8	国	広島大学	11	14,900	11	9	国	名古屋大学	14	22,100	11
10	国	筑波大学	10	19,800	8	10	国	北海道大学	11	17,000	12
11	国	東京芸術大学	9	47,200	7	10	国	東北大学	11	12,000	10
12	国	埼玉大学	7	9,300	6	10	国	筑波大学	11	11,100	9
13	国	千葉大学	6	18,200	4	13	国	九州大学	10	13,100	14
13	他	東京国立博物館	6	12,300	6	13	私	中央大学	10	10,900	6
13	私	東洋大学	6	10,200	2	15	私	慶應義塾大学	8	13,000	9
13	国	神戸大学	6	6,200	8	15	国	富山大学	8	10,100	4
17	私	関西大学	5	12,700	5	15	国	千葉大学	8	9,300	10
17	国	京都工芸繊維大学	5	9,700	3	18	私	立教大学	7	14,000	7
17	国	岩手大学	5	6,700	6	18	国	琉球大学	7	12,900	6
17	国	新潟大学	5	4,600	4	18	私	立命館大学	7	11,000	5
17	国	山形大学	5	3,600	4	18	国	大阪外国語大学	7	10,700	5
22	私	立教大学	4	13,800	4	18	私	日本大学	7	7,800	6
22	他	東方研究会	4	11,600	4	23	国	岐阜大学	6	5,300	1
22	国	岡山大学	4	10,300	3	23	私	青山学院大学	6	5,100	5
22	私	立命館大学	4	9,100	3	25	国	熊本大学	5	5,400	2
22	私	南山大学	4	9,000	3	25	国	東京学芸大学	5	5,200	5
22	私	京都造形芸術大学	4	8,000	3	25	国	一橋大学	5	5,000	5
22	国	静岡大学	4	7,900	5	25	国	金沢大学	5	4,900	5
22	私	日本大学	4	4,200	3	25	国	大阪教育大学	5	4,500	2
22	公	愛知県立大学	4	3,800	3	25	私	明治大学	5	4,200	4
22	国	三重大学	4	3,500	1	25	私	法政大学	5	4,000	3
22	国	弘前大学	4	3,200	1						
22	私	慶應義塾大学	4	3,200	4						
合計			504	885,800	460	合計			561	782,700	464

表2 - 3 - 2 人文学「分科」別採択研究課題数上位30位(2004年度)(2)

金額単位/千円

言語学						史学					
順位	種別	機関名	2004年度		2003 件数	順位	種別	機関名	2004年度		2003 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	国	東京外国語大学	34	79,100	31	1	国	東京大学	40	193,500	35
2	国	大阪大学	28	34,400	29	2	国	京都大学	29	62,100	24
3	国	広島大学	27	26,500	20	3	私	早稲田大学	28	44,300	23
4	国	東京大学	26	68,300	24	4	他	奈良文化財研究所	24	68,500	24
5	国	筑波大学	24	39,200	20	5	国	九州大学	19	45,600	16
6	私	早稲田大学	23	29,200	16	6	国	広島大学	17	23,200	18
7	国	京都大学	21	41,900	13	7	国	大阪大学	16	41,000	12
8	国	九州大学	20	19,500	18	8	国	新潟大学	13	19,200	9
9	他	国立国語研究所	18	36,000	19	8	国	岡山大学	13	14,300	12
10	国	名古屋大学	17	22,300	17	8	他	大阪市文化財協会	13	12,500	11
10	国	東北大学	17	20,700	16	11	国	東北大学	12	25,500	12
12	公	東京都立大学	11	25,700	11	11	国	神戸大学	12	24,100	11
12	国	千葉大学	11	21,900	5	11	国	筑波大学	12	19,500	14
12	国	大阪外国語大学	11	10,800	9	11	国	北海道大学	12	11,400	12
15	国	神戸大学	9	16,100	9	15	私	明治大学	11	34,100	7
15	私	関西大学	9	9,200	5	15	国	名古屋大学	11	29,500	7
17	国	北海道大学	8	24,200	11	15	他	奈良県立橿原考古学研究所	11	23,000	11
17	私	慶應義塾大学	8	14,700	7	18	国	熊本大学	10	27,100	9
17	国	金沢大学	8	11,200	6	19	私	関西大学	9	24,100	6
17	国	お茶の水女子大学	8	9,800	11	20	他	国立歴史民俗博物館	8	26,000	8
21	国	山口大学	7	9,500	6	20	国	愛媛大学	8	14,600	7
21	国	静岡大学	7	8,600	6	22	国	金沢大学	7	18,300	7
21	私	東海大学	7	7,800	3	22	公	東京都立大学	7	16,700	4
21	国	琉球大学	7	7,700	4	24	私	中央大学	6	37,700	5
21	私	立命館大学	7	5,300	2	24	他	国文学研究資料館	6	22,200	6
26	私	東京女子大学	6	18,100	4	24	私	日本大学	6	6,900	7
26	国	富山大学	6	10,700	5	24	他	北海道開拓記念館	6	6,400	6
26	私	関西学院大学	6	8,800	4	24	国	大阪外国語大学	6	6,300	10
26	公	神戸市外国語大学	6	5,800	6	24	国	お茶の水女子大学	6	6,200	6
26	国	愛媛大学	6	5,500	5	24	国	徳島大学	6	5,800	5
26	国	岡山大学	6	4,800	6	24	国	埼玉大学	6	5,400	6
26	公	愛知県立大学	6	4,300	7	24	国	島根大学	6	4,700	7
26	国	一橋大学	6	4,200	6						
合計			760	1,123,900	653	合計			698	1,590,900	650

表2 - 3 - 3 人文学「分科」別採択研究課題数上位30位(2004年度)(3)

金額単位/千円

人文地理学						文化人類学					
順位	種別	機関名	2004年度		2003 件数	順位	種別	機関名	2004年度		2003 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	国	京都大学	7	30,500	7	1	他	国立民族学博物館	12	49,000	16
2	国	神戸大学	6	13,600	5	2	国	京都大学	9	49,300	12
3	国	埼玉大学	5	4,400	4	2	他	国立歴史民俗博物館	9	28,900	8
4	国	奈良女子大学	4	13,900	5	4	国	東北大学	8	10,900	6
5	公	大阪府立大学	3	15,000	2	5	国	東京外国語大学	7	39,100	6
5	私	法政大学	3	9,500	3	6	国	筑波大学	6	14,100	6
5	公	東京都立大学	3	9,400	6	7	国	神戸大学	5	18,900	4
5	公	大阪市立大学	3	8,400	4	8	国	東京大学	4	8,500	3
5	国	東北大学	3	5,700	3	8	国	広島大学	4	3,800	5
5	国	名古屋大学	3	4,300	4	10	国	名古屋大学	3	15,600	2
5	国	広島大学	3	4,300	4	10	他	北海道開拓記念館	3	6,500	3
12	国	大阪大学	2	9,500	2	10	国	大阪大学	3	6,300	2
12	国	琉球大学	2	6,100	1	10	国	静岡大学	3	5,800	3
12	国	大分大学	2	5,400	1	10	私	京都文教大学	3	5,000	3
12	国	筑波大学	2	4,900	4	10	国	弘前大学	3	4,700	3
12	国	金沢大学	2	4,900	3	10	私	日本女子大学	3	2,100	3
12	国	岡山大学	2	4,700	1	17	国	埼玉大学	2	16,700	2
12	私	明治大学	2	4,000	1	17	国	千葉大学	2	5,700	0
12	国	東京大学	2	3,500	2	17	国	愛媛大学	2	5,700	1
12	私	追手門学院大学	2	2,600	1	17	私	法政大学	2	5,100	0
12	私	奈良大学	2	2,200	1	17	私	関西学院大学	2	4,900	2
12	国	愛媛大学	2	2,100	1	17	国	九州大学	2	4,700	2
12	国	三重大学	2	1,600	2	17	国	熊本大学	2	3,400	2
12	国	北海道大学	2	1,500	2	17	私	國學院大學	2	3,300	2
12	国	九州大学	2	1,500	3	17	私	甲南大学	2	3,300	0
12	国	岩手大学	2	1,400	2	17	国	信州大学	2	2,700	1
12	国	茨城大学	2	1,400	1	17	国	北海道大学	2	2,500	1
12	国	お茶の水女子大学	2	1,400	1	17	国	山口大学	2	1,600	1
						17	私	早稲田大学	2	1,400	1
						17	国	大阪外国語大学	2	900	2
合計			122	256,000	126	合計			180	471,900	173

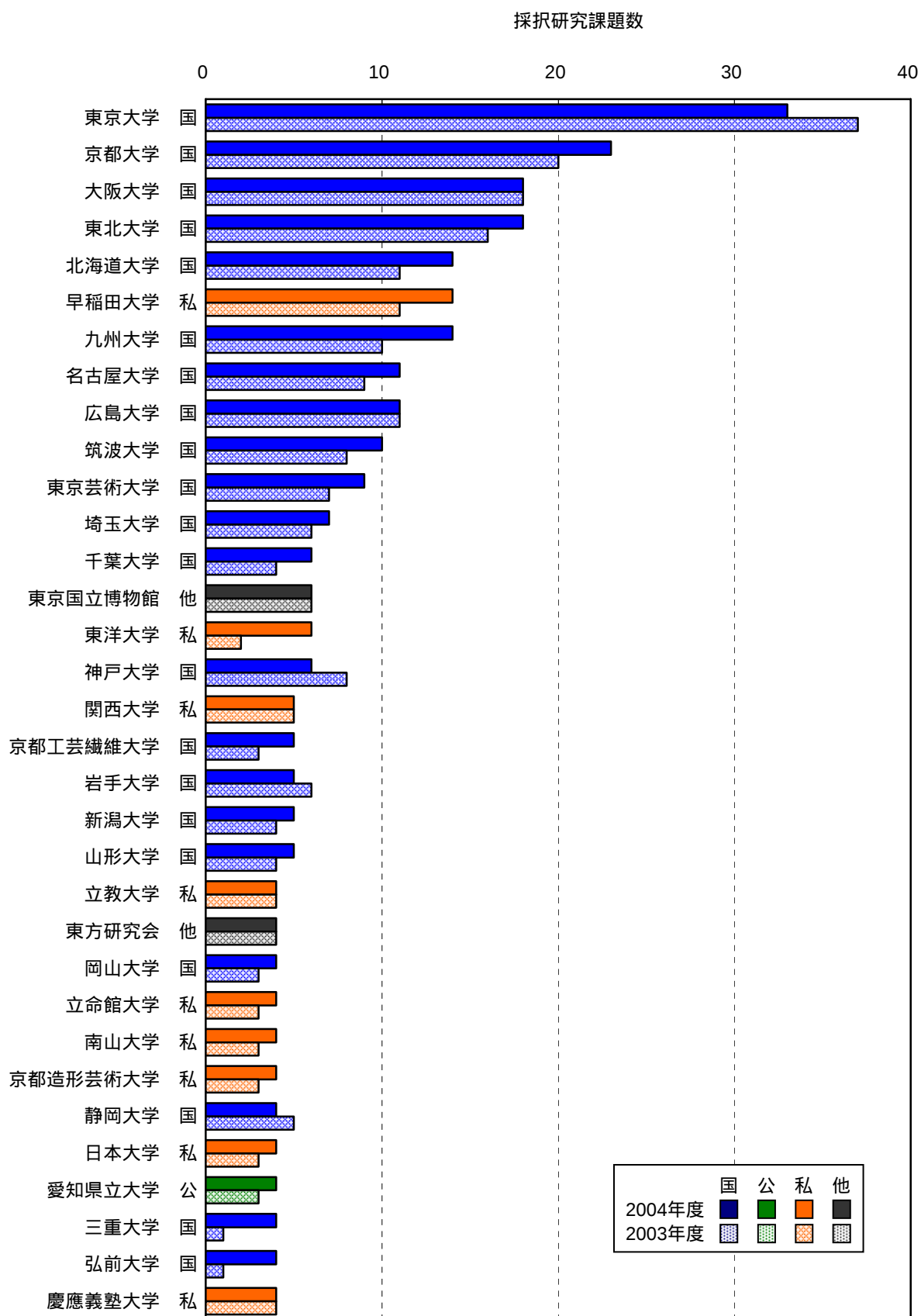


図 2 - 5 - 1 哲学 採択研究課題数上位 30 位 (2004 年度)

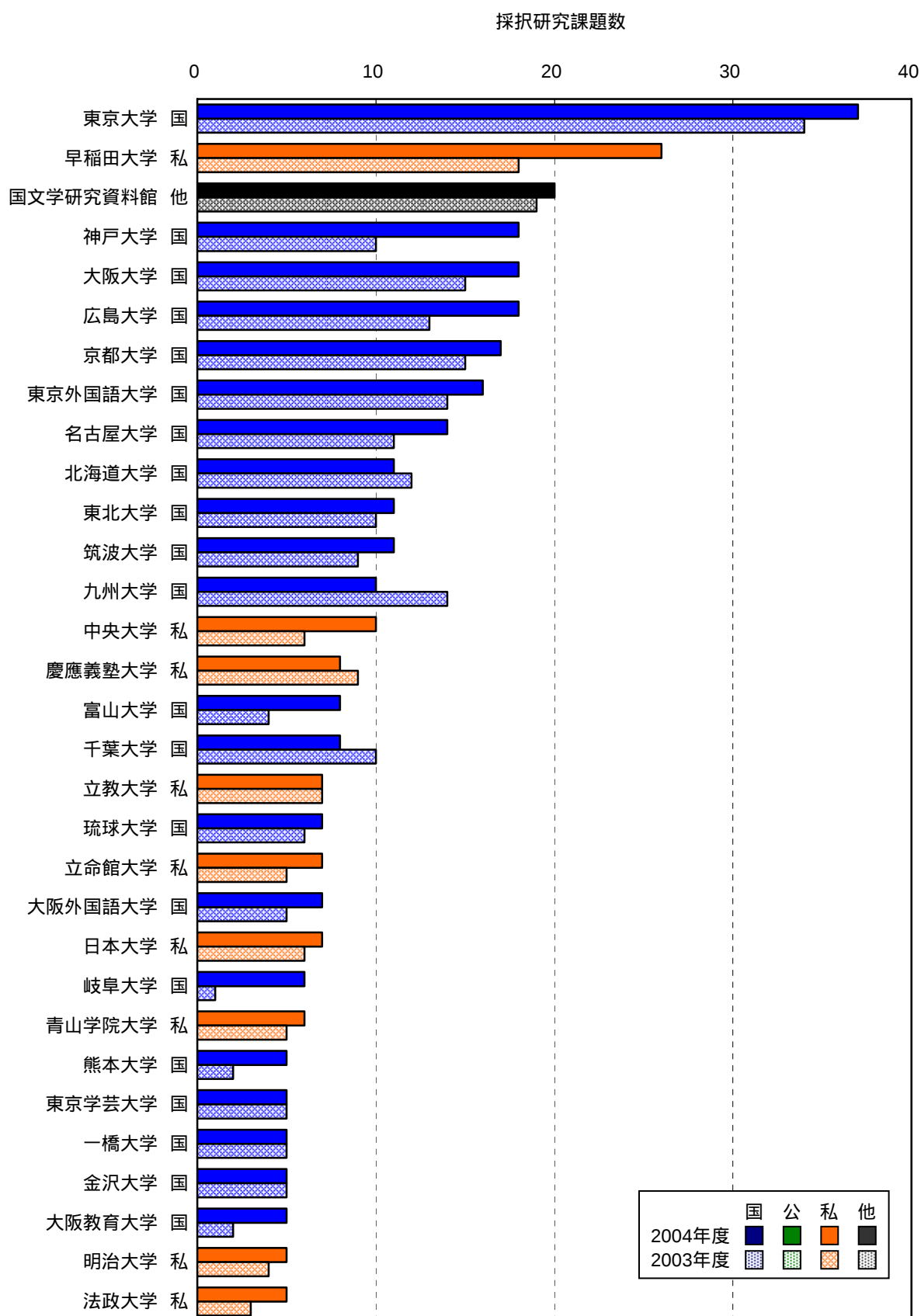


図 2 - 5 - 2 文学 採択研究課題数上位 30 位 (2004 年度)

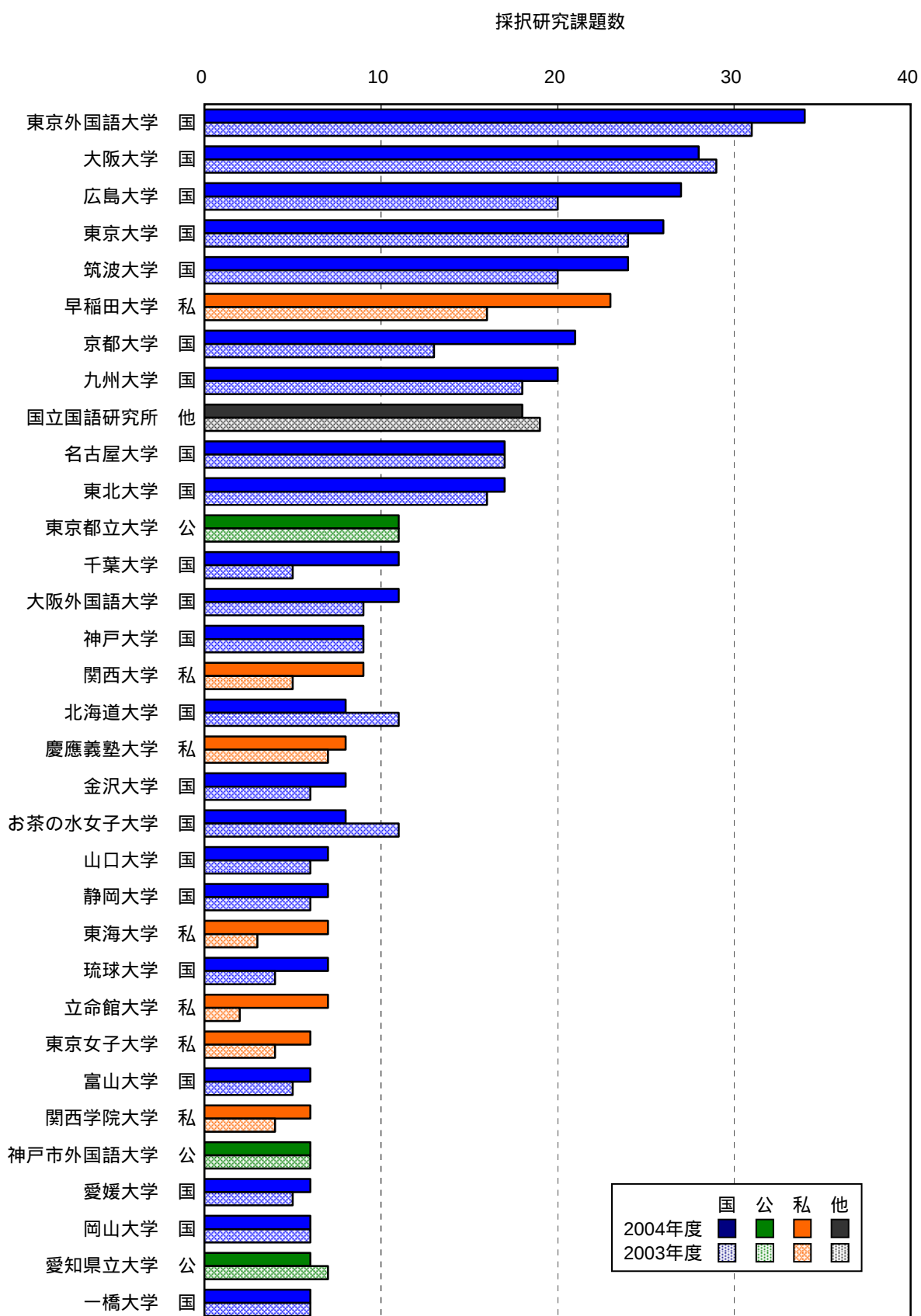


図2 - 5 - 3 言語学 採択研究課題数上位30位(2004年度)

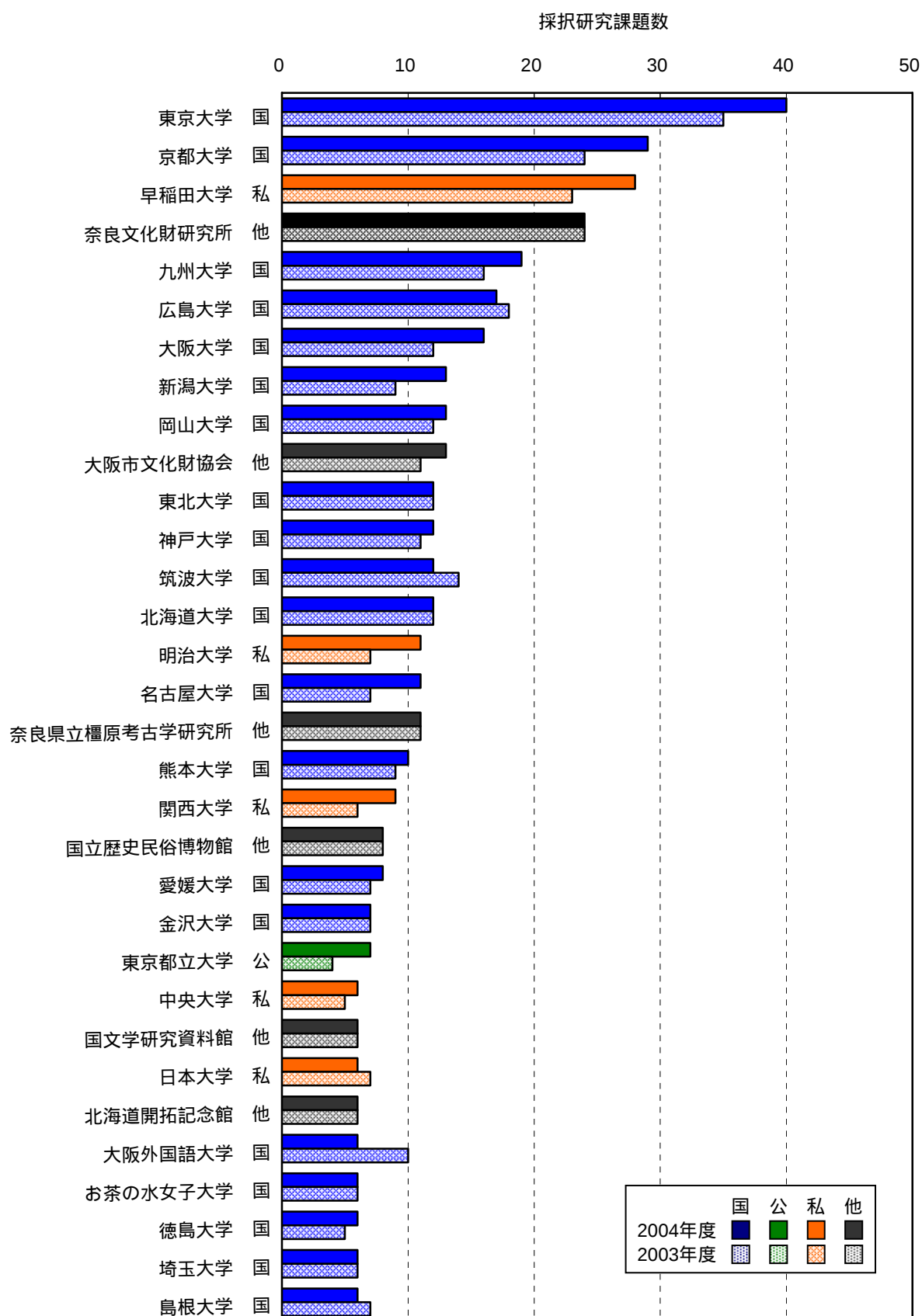
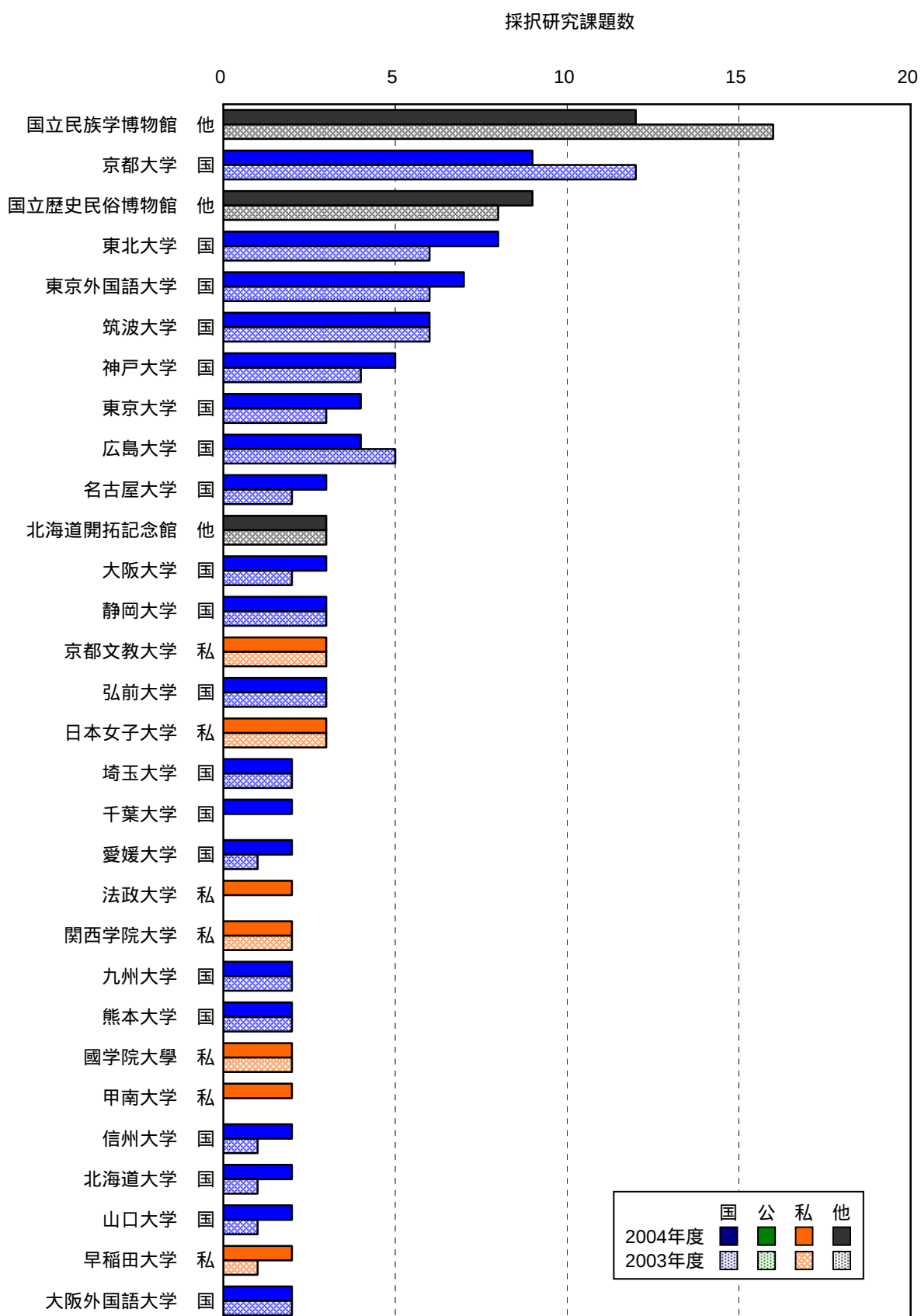


図 2 - 5 - 4 史学 採択研究課題数上位 30 位 (2004 年度)



2 - 5 - 5 文化人類学 採択研究課題数上位 30 位（2004 年度）

2 - 2 社会科学

分野：社会科学の中の法学、政治学、経済学、経営学、社会学、心理学、教育学の「分科」ごとの採択研究課題数を図2 - 6の円グラフに示す。分野：人文学と比べると、分科：政治学を除けば「分科」別の採択研究課題数に大きな偏りがない。

2003年度と比較すると、採択研究課題総数が約11%増えた分野：社会科学の中で、もっとも採択研究課題総数が増えたのは分科：経済学、経営学であり、約20%伸びている。これに対して、分科：政治学、教育学では採択研究課題総数の伸びが約9%に留まっている。

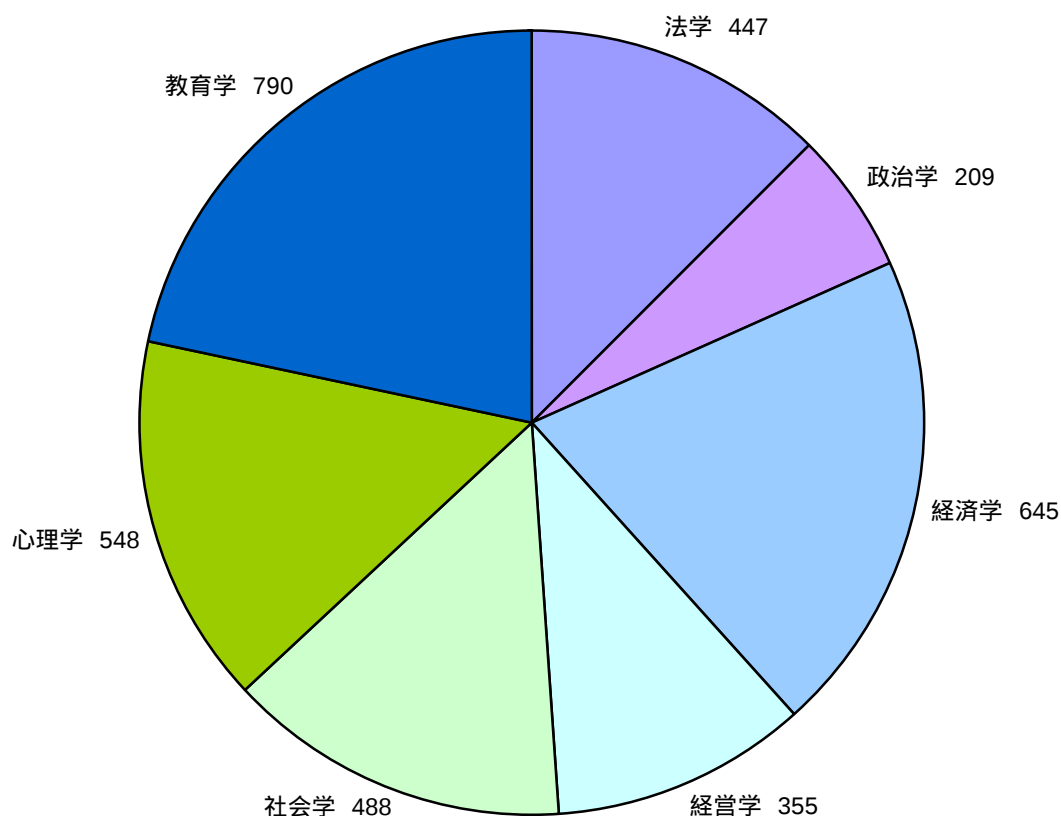


図2 - 6 社会科学「分科」別採択研究課題数（2004年度）

以下、法学、政治学、経済学、経営学、社会学、心理学、教育学の各「分科」について、I章で述べた方針にしたがって上位30位までを表にまとめ、表2 - 4 - 1～2 - 4 - 4に示す。表に対応した各「分科」の機関別の棒グラフを図2 - 7 - 1～2 - 7 - 7に示す。

分野：社会科学でも、ほぼ人文学と同じような傾向を見てとれる。まず、分科：法学では、東京大学の1位には変化がないが、順位は変わらないものの神戸大学が採択研究課題数を大幅に伸ばしている。

逆に、分科：政治学では、1位の東京大学が採択研究課題数を伸ばし2位との差を広げ、早稲田大学も採択研究課題数を伸ばしている。

分科：経済学では、採択研究課題数が増えた東京大学が一橋大学と逆転して1位となっている。ここでも早稲田大学が採択研究課題数を伸ばしているのが目に付く。

分科：経営学では、1位の神戸大学、2位の早稲田大学が採択研究課題数を伸ばし3位との差を広げ、この分野での2強の存在を示している。経済学と比較して、私立大学が多いことには、変化はない。

分科：社会学でも、私立大学の強さが目立つ。2003年度には採択研究課題のなかったルーテル学院大学や中央大学が現れてきている。

分科：心理学では、信州大学が採択研究課題数を伸ばしたことを除くと、上位には大きな変化はない。東京都老人総合研究所、東京都医学研究機構等の研究所や、国立教員養成大学が10位以降に数多く見られることが特徴的である。

分科：教育学では、国立教育政策研究所、国立特殊教育総合研究所等の教育系研究所や、広島大学、筑波大学のような旧文理大学が上位に位置し、国立教員養成大学も数多く現れている。この分野では国立大学が強く、30位以内に私立大学の姿を見ることはできない。

末尾になったが、この一連の科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度の調査研究にあたって、データの整理、編集、図表の作成をお願いした東京大学生産技術研究所の斉藤加余子氏に感謝の意を表する。

金額単位/千円

26

表2 - 4 - 2 社会科学「分科」別採択研究課題数上位 30 位 (2004 年度)(2)

金額単位/千円

経済学						経営学					
順位	種別	機関名	2004年度		2003 件数	順位	種別	機関名	2004年度		2003 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	国	東京大学	48	119,400	36	1	国	神戸大学	28	67,900	23
2	国	一橋大学	38	99,900	39	2	私	早稲田大学	19	31,735	14
3	国	大阪大学	25	87,600	20	3	私	関西大学	11	16,600	10
3	国	神戸大学	25	31,700	29	3	私	日本大学	11	13,200	11
5	私	早稲田大学	23	25,900	13	5	国	東京大学	9	20,700	10
6	国	京都大学	20	71,800	19	5	国	北海道大学	9	12,400	6
7	国	名古屋大学	19	49,000	17	5	私	明治大学	9	12,100	8
8	国	筑波大学	18	36,200	18	5	国	京都大学	9	11,800	9
8	国	東北大学	18	35,900	18	9	国	一橋大学	8	21,700	12
8	私	立命館大学	18	30,100	14	9	国	横浜国立大学	8	14,700	6
11	私	慶應義塾大学	17	46,800	12	9	国	香川大学	8	9,200	8
12	国	横浜国立大学	16	23,300	17	9	私	東洋大学	8	7,600	4
13	公	大阪市立大学	14	25,700	11	13	国	筑波大学	7	14,100	8
13	国	九州大学	14	25,300	16	13	私	京都産業大学	7	10,300	4
13	国	岡山大学	14	24,800	12	13	国	広島大学	7	9,900	6
16	国	北海道大学	13	20,900	12	13	国	小樽商科大学	7	7,400	7
17	国	埼玉大学	12	11,600	8	13	国	富山大学	7	5,100	6
18	公	名古屋市立大学	10	8,100	8	18	私	立命館アジア太平洋大学	6	19,400	4
19	国	滋賀大学	9	12,300	9	18	私	青山学院大学	6	15,800	5
19	公	東京都立大学	9	12,000	9	18	国	名古屋大学	6	10,900	7
19	私	関西大学	9	11,400	5	18	国	福島大学	6	5,600	3
19	国	広島大学	9	10,600	9	22	国	大阪大学	5	17,100	1
19	公	大阪府立大学	9	8,500	2	22	私	慶應義塾大学	5	13,000	6
24	国	長崎大学	8	13,300	10	22	私	中央大学	5	11,000	6
24	国	新潟大学	8	9,400	4	22	公	兵庫県立大学	5	10,600	4
24	国	小樽商科大学	8	5,900	7	22	私	日本福祉大学	5	8,300	3
27	私	日本大学	7	35,300	4	22	私	立教大学	5	6,900	5
27	私	同志社大学	7	25,200	4	22	私	立命館大学	5	5,800	4
27	私	法政大学	7	14,600	8	22	国	新潟大学	5	3,800	5
27	国	香川大学	7	8,100	5	30	国	東京工業大学	4	29,200	5
						30	国	東北大学	4	14,500	3
						30	公	高崎経済大学	4	6,900	4
						30	国	長崎大学	4	4,500	4
						30	公	名古屋市立大学	4	4,400	2
						30	国	岡山大学	4	3,500	5
合計			776	1,406,000	645	合計			415	742,935	346

金額単位/千円

28

表 2 - 4 - 4 社会科学「分科」別採択研究課題数上位 30 位 (2004 年度)(4)

金額単位/千円

教育学					
順位	種別	機関名	2004年度		2003 件数
			件数	金額	
1	国	広島大学	48	82,200	41
2	他	国立教育政策研究所	37	79,000	39
3	国	筑波大学	33	67,700	35
4	国	東京学芸大学	31	42,400	24
5	他	国立特殊教育総合研究所	24	43,300	21
6	国	上越教育大学	19	27,300	17
7	国	東京大学	17	40,700	16
7	国	愛知教育大学	17	24,600	14
9	国	東北大学	14	41,700	12
9	国	名古屋大学	14	27,800	15
11	国	鳴門教育大学	13	11,800	13
12	国	岡山大学	12	9,900	12
13	国	京都教育大学	11	25,400	9
13	国	兵庫教育大学	11	14,800	17
13	国	信州大学	11	10,700	9
13	他	筑波技術短期大学	11	10,100	9
17	国	静岡大学	10	16,900	9
17	国	愛媛大学	10	13,600	13
17	国	長崎大学	10	10,100	9
20	国	北海道大学	9	30,300	10
20	国	京都大学	9	15,200	8
20	国	滋賀大学	9	14,700	8
20	国	福岡教育大学	9	8,300	7
24	国	お茶の水女子大学	8	18,800	6
24	国	鳥取大学	8	14,900	6
24	国	大阪教育大学	8	14,400	7
24	国	神戸大学	8	11,900	9
24	国	九州大学	8	11,700	12
24	国	宮城教育大学	8	11,000	6
24	国	北海道教育大学	8	8,700	7
合計			837	1,363,317	768

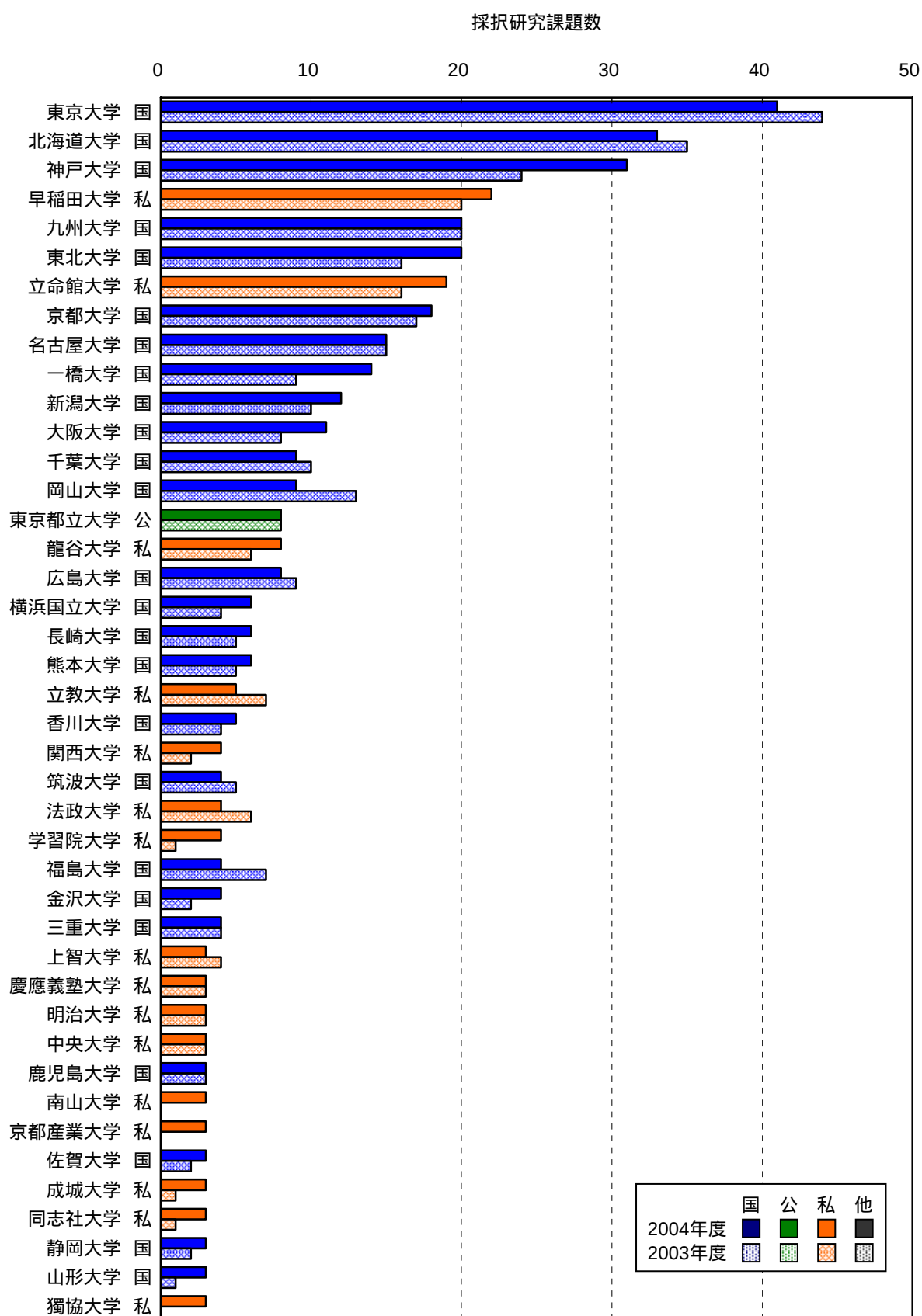


図 2 - 7 - 1 法学 採択研究課題数上位 30 位 (2004 年度)

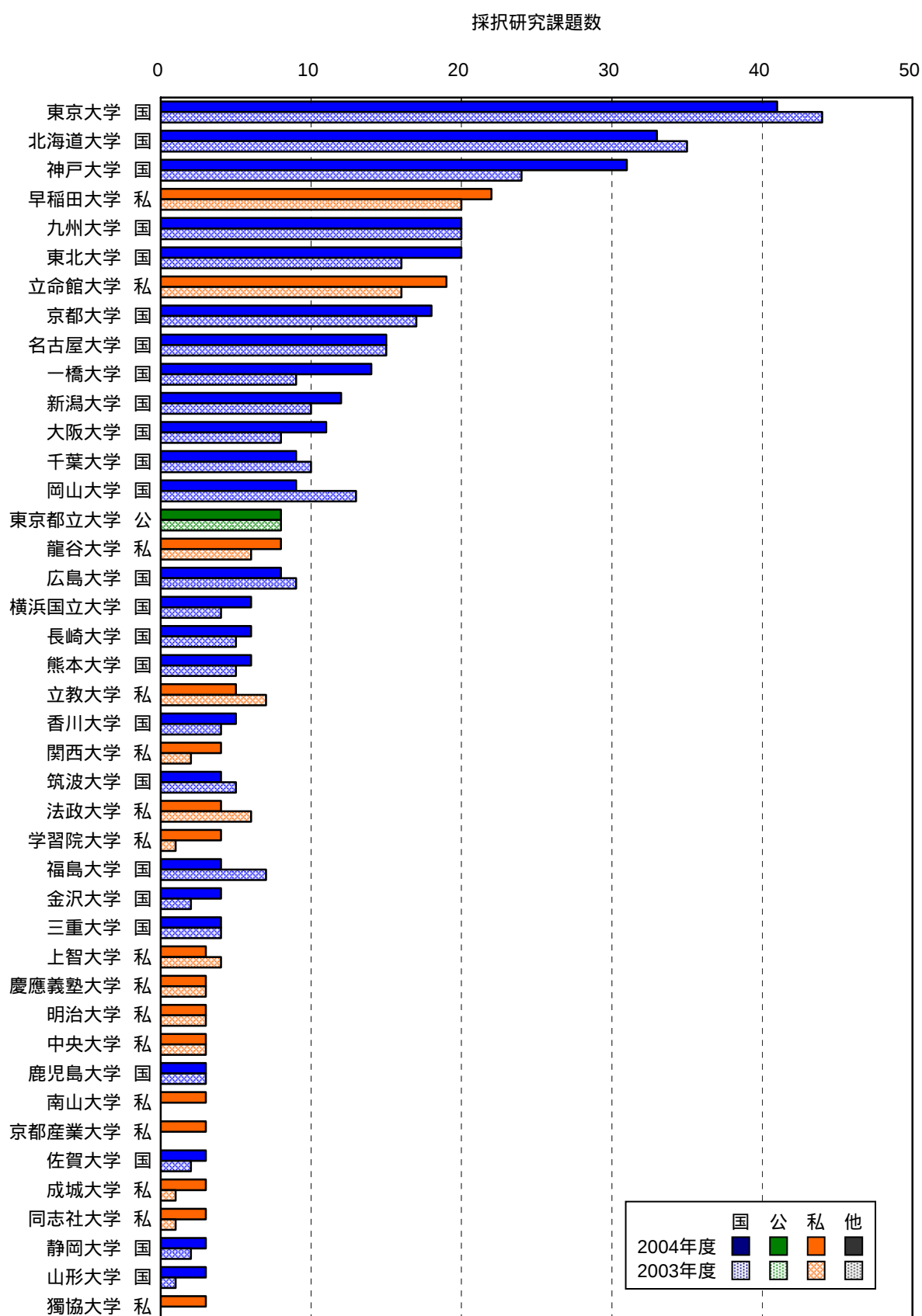


図 2 - 7 - 2 政治学 採択研究課題数上位 30 位 (2004 年度)

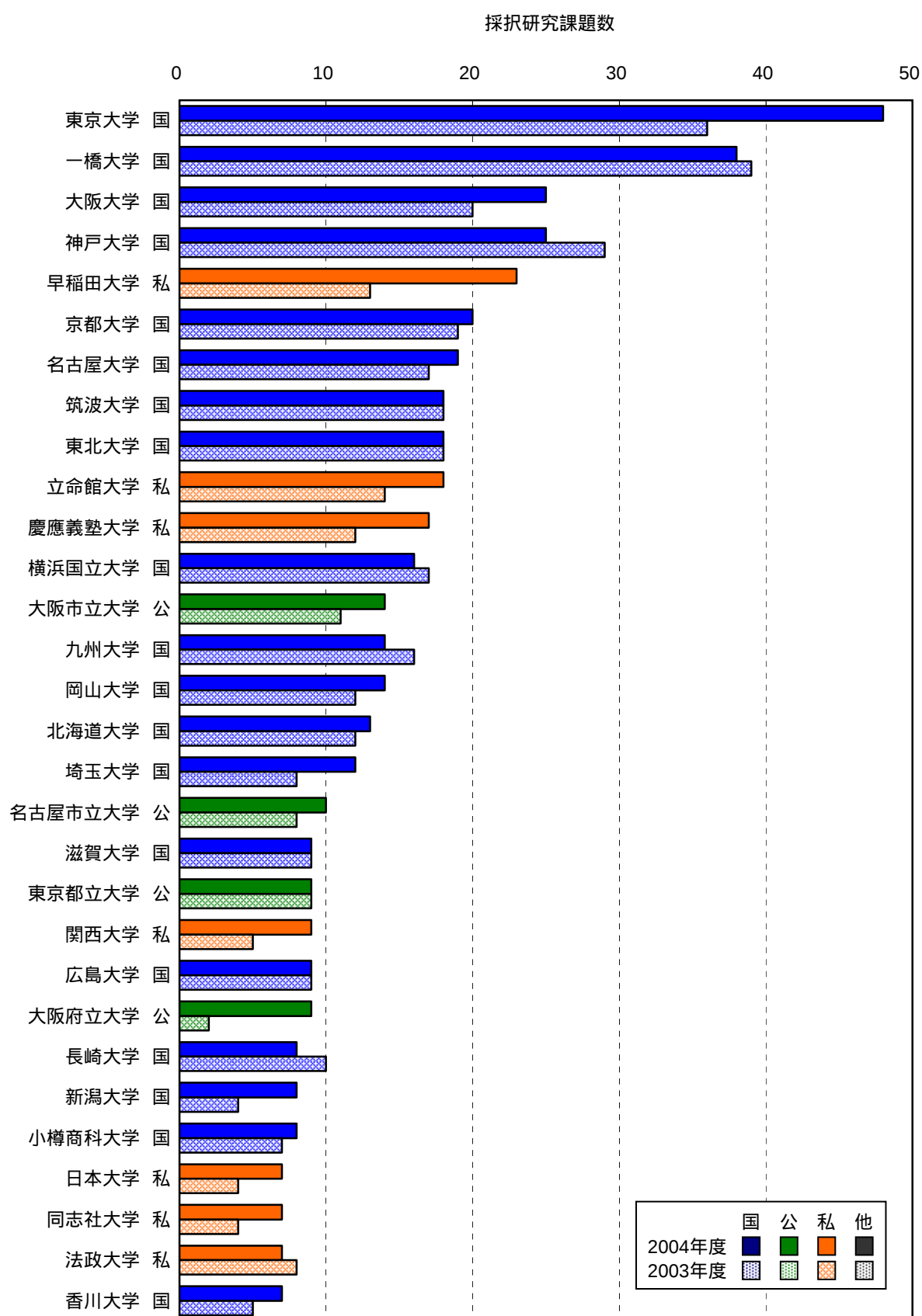


図 2 - 7 - 3 経済学 採択研究課題数上位 30 位 (2004 度)

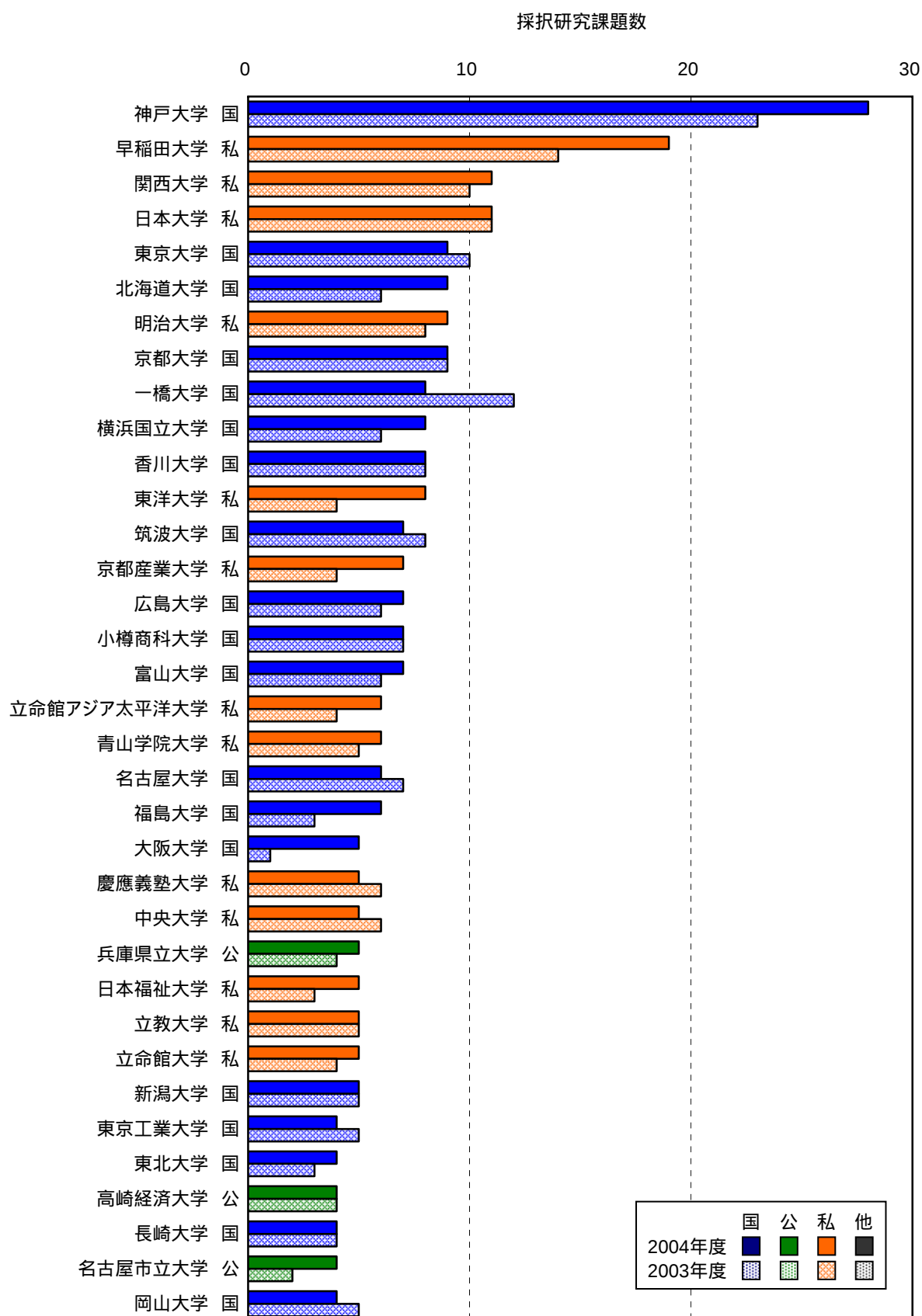


図 2 - 7 - 4 経営学 採択研究課題数上位 30 位 (2004 年度)

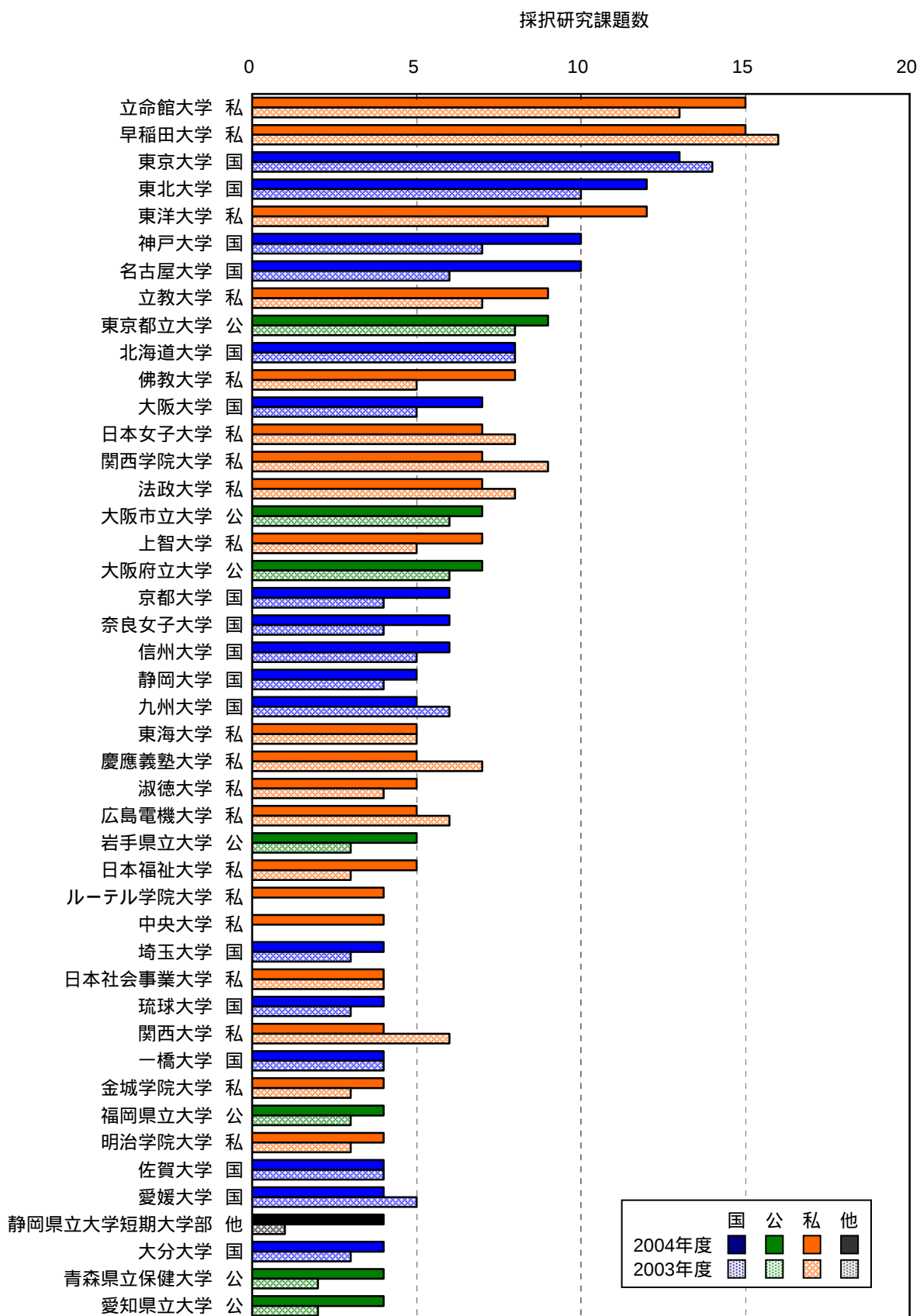


図2 - 7 - 5 社会学 採択研究課題数上位30位(2004年度)

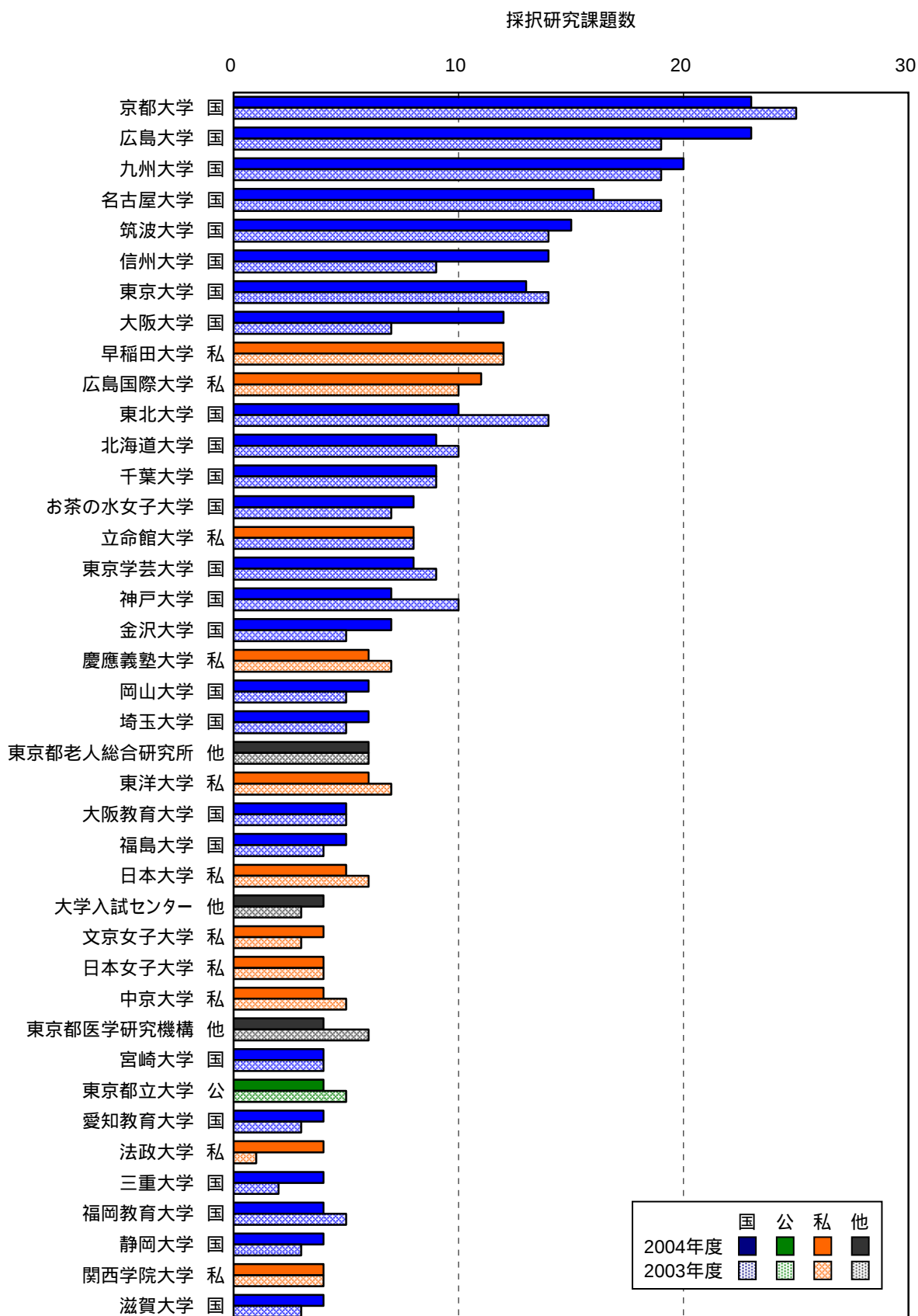


図2 - 7 - 6 心理学 採択研究課題数上位30位(2004年度)

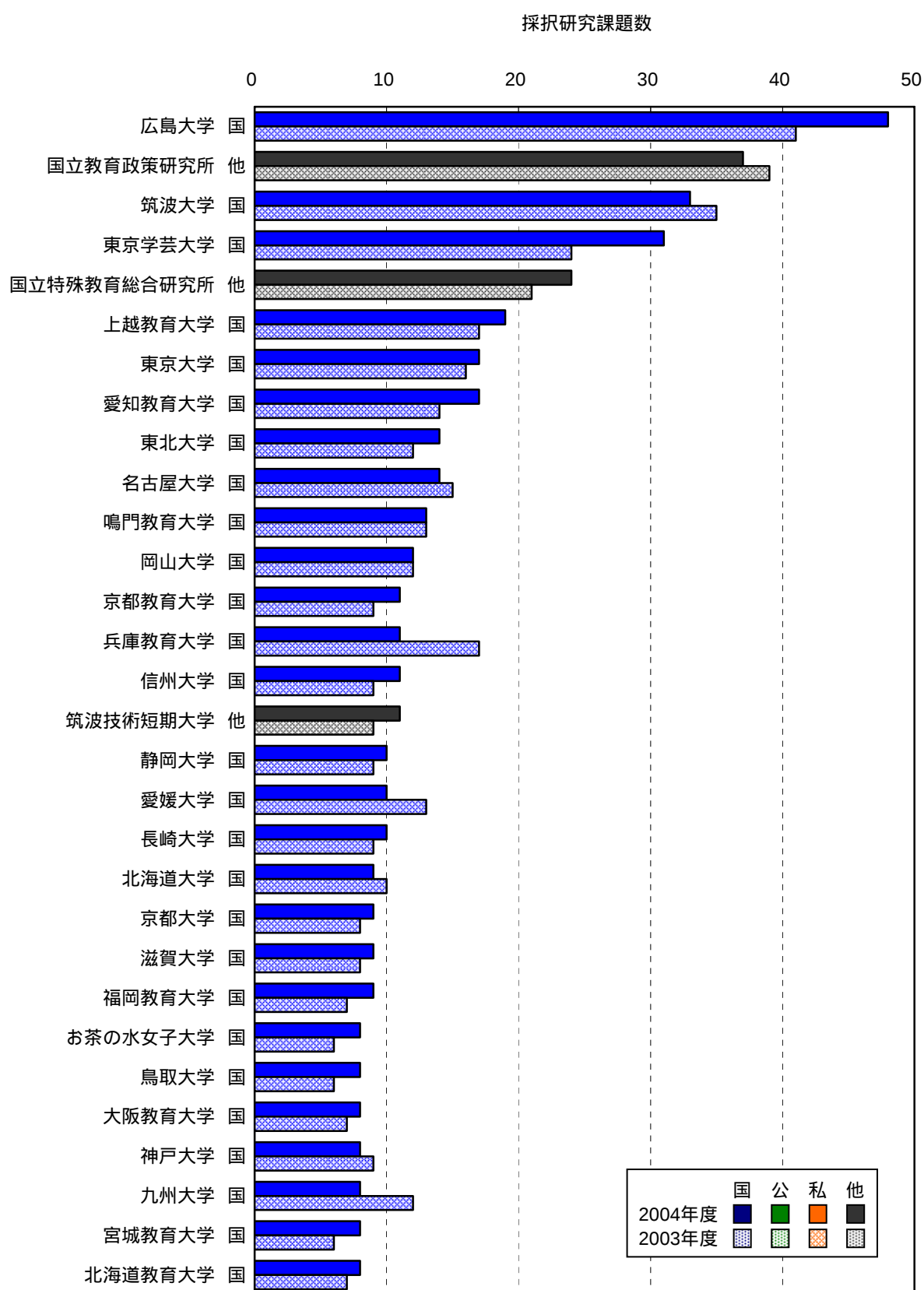


図2 - 7 - 7 教育学 採択研究課題数上位30位(2004年度)